



始



14.24

351

大正十四年度

三重縣工業試驗場業務功程

# 大正十四年度業務功程

## 目次

第一章	一般ノ經過	三
第一節	染織部	三
第二節	實施ノ概要	三
第一	試驗研究	三
第二	「ファンシヤーン」ノ製造方法ノ研究	四
第三	本場考案「ファンシヤーン」ヲ應用シタル織物製織試驗	四
第四	人絹及綿毛交織子服地製織試驗	七
第五	紋「タオル」製織試驗	九
第六	人絹紡績糸應用「ファンシグーツ」	一一
第七	二重接結袋織力織機考案	一一
第八	織物用經糸澁使用ニ依ル試驗	一三
第九	「タエリン」使用ニ依ル糊料試驗	四四
第十	「タオル」捺染ニ關スル試驗	五三



大正  
15. 9. 17  
内交

第十	「グイスコース」絹糸黒染試験.....	五八
第十一	酸性媒染々料染色堅牢度試験.....	六二
第三節	依 頼 試 験.....	七一
第四節	實地指導郡市別表.....	七四
第五節	實地指導並ニ質疑應答.....	七六
第六節	特 別 會 計.....	八二
第一	本年度ニ於ケル製作數量.....	八二
第二	同 染色加工數量.....	八三
第三	同 整理加工數量.....	八四
第四	收 支 計 算 書.....	八五
第二章	圖 案 部.....	八六
第一節	實地ノ概要.....	八六
第二節	圖 案 調 製.....	八七
第三節	實地指導郡市別表.....	八七
第四節	質 疑 應 答.....	八八
第三章	窯 業 部.....	八八

第一節	實 施 ノ 概 要.....	八九
第二節	試 驗 研 究.....	八九
第三節	實地指導郡市別表.....	九一
第四節	實地指導及質疑應答.....	九二
第四章	釀 造 部.....	九三
第一節	實 施 ノ 概 要.....	九三
第二節	試 驗 研 究.....	九四
第三節	依 頼 製 作.....	九五
第四節	實地指導郡市別表.....	九五
第五節	醬油仕込試験成績.....	九六
第六節	實地指導及質疑應答.....	九八
第五章	分 場.....	一〇二
第一節	分 析 鑑 定.....	一〇二
第二節	實 地 指 導.....	一〇三
第三節	質 疑 應 答.....	一〇三
第六章	講 習、講 話 其 他.....	一〇四

14.24-357

# 大正十四年度業務功程

## 一 一般ノ經過



大正十四年ノ初頭ニ於テハ輸出良好ノ事情ニ接援セラレ尙強調ヲ失ハズシテ依然活況ヲ持續シ來リシモ四月中旬ニ至リ對米爲替ノ反騰米棉ノ反落等四圍ノ環境益々惡化シ在荷増加ノ傾向ニ依リ遂ニ綿糸ノ暴落ヲ誘致シ市況不振ニ陥ルニ至レリ然ルニ支那紡績罷業及綿糸安ノ爲メ輸出増加ヲ喚起シ加之夏期減産及内地需要見直シニ依リ八、九月ノ候ニハ著シク活況ヲ呈シ一般ニ愁眉ヲ開キシモ須臾ニシテ米棉ノ豐作豫想其ノ他支那時局彌々收拾スヘカラザルニ至リタル等ニテ輸出方面ノ脅威ヲ加ヘ惡材料蝟集シ遂ニ亦又綿糸ノ暴落トナリ十月下旬ニ入ルヤ市況全ク一頓挫ヲ來シ不振ノ状態ヲ持續シツ、大正十五年度ヲ迎フルニ至レリ

染織工業界ハ前記不況ノ輪環ヲ脱スルコトヲ得ズト雖モ本縣ニ於ケル當業者ノ製産、組織並ニ其ノ製品、他產地ノ夫レノ如ク財界ノ影響ヲ蒙ルコト比較的少キガ故ニ休業者ヲ出ヌガ如キコトナク氣息燕々タル内ニアリテモ猶且製産ヲ持續スルヲ得タリキ然リト雖モ探算何レモ不利ニ陥リシハ誠ニ遺憾トスル所ナリ

本場ハ此ノ間ニ處シ生産費ノ遞減及商品價值ノ向上ヲ計ルハ最モ有利ト爲ス所ナルヲ以テ此点ニ留意シ依頼試驗ノ餘暇ヲ見テ生産能率ニ最モ影響ヲ及ボス各種事項ノ研究及指導ヲ行ヒ商品價值ノ向上ヲ圖ル目的ヲ以テ原料、組織、染法等ニ關聯シタル試驗研究及之ガ指導ヲ行ヒタルニ其ノ結果輸出向並ニ紋タオル等相當新

第一節	講習、講話	一〇四
第二節	研究會	一〇五
第三節	審査	一〇六
第七章	技術者養成	一〇七
第一節	練習生養成	一〇七
第二節	講習生養成	一〇八
第八章	庶務	一〇九
第一節	文書件數	一〇九
第二節	機械増設	一〇九
第三節	機械貸與	一〇九
第四節	印刷物配付	一一〇
第五節	職員異動	一一〇
第六節	現在職員	一一〇
第七節	決算書	一一二

シキ製産品ヲ見ルニ至ラントシツ、アリ

窯業界ニ於テモ依然トシテ不振ニ終リ從テ萬古燒ハ亦同一ノ影響ヲ受ケ比較的閑散ナリシガ之レ亦他府縣ニ於ケル斯業ニ比スレバ幾分活氣ヲ有シ内地向需要ニアリテハ著シキ變化ナカリント雖モ輸出向ハ其ノ需要ニ於テ稍ヤ減少シタリキ又伊賀燒タル行平、土鍋類ハ益々不振ナルモ之ニ對應スベキ日用食器及火鉢等ノ製品ニ轉換以來相當需要ヲ見ルニ至リタリ然リト雖モ之レ創始當時ニシテ設備等ノ完備セザリシガ爲ニ其ノ生産額少ナクシテ一般ノ需要ニ應ズルコトヲ得ザリシガ今後ニ於テハ極力擴張ニ努メ新生面ヲ開カントス

醸造ニ於テモ數年來引續ク財界ノ沈滯益々深甚ヲ極メ偶々増税問題ニ遭遇スルモ聊カ刺戟サル、事ナク全ク沈衰状態ニ酒造ヲ終レリ此ノ間ニ於テハ優良健實酒ノ生産並ニ地方的健實酒ノ醸造、腐造救濟等ヲ主眼トシ大ニ努ムル處アリタリ即チ内務事務トシテハ乳酸菌、純粹酵母菌ノ分與種麴ノ検査、其ノ他醸造原料ノ分析鑑定ヲナシ其ノ主要成分ヲ瞭シ當業者ノ參考ニ供セリ外務トシテハ醸造家及其ノ徒弟ニ講習講話或ハ各所ニ於テ醸造ニ關スル研究會ヲ開催シ以テ醸造智識ノ啓發ニ努メタリ又酒造期間ハ絶エズ巡回ヲ行ヒ實地ニ付指導ノ徹底ヲ期セリ幸ニ當業者ノ献身の努力ト相俟ツテ豫想以上ノ好成绩ヲ得ルニ至レリ

醬油(溜)業ニ於テハ之レ又原料ノ騰貴ニ加ヘ一般經財界ノ不振ナルト廢税問題ニ依ル間屋筋ノ買控ヘニ依リ大口取引ヲ行レズト雖モ日用缺クベカラザル需要品ナルガ故ニ比較的稍ヤ其ノ實ヲ示セリ

之ヲ要スルニ本年度ニ於ケル一般工業界ハ一段ノ閑散沈靜裡ニ推移シタル爲メ本場業務ハ却テ相當繁忙ヲ來シ試験及指導件數ニ於テ染織部八一〇件、窯業部三二五二件、醸造部一、一九三件、分場五六件、圖案調製一、一二

六件、庶務件數六、六三七件ヲ數フルニ至レリ

大正十五年五月二十五日

場長 熊田健一

## 第一章 染織部

### 第一節 實施ノ概要

染織工業界ニ於テハ前年來ノ不況更ニ一段ノ深刻ヲ加ヘ何レモ採算ノ極メテ不利ナル狀勢ニ終止セリ然レドモ此ノ間ニ善處スル爲メ諸種ノ研究考較ヲ試ムルノ氣運著シク發達シタリ

伊勢織物同業組合ニ於テハ前年來ノ計畫ニ係ル廣幅力織機三百臺ノ増設完結ヲ見松阪織物組合ニ於テハ一部タオル組合ニ共同染色加工場ノ建設進行中ニアリ北勢タオル界ニ於テハ從來双糸「タオル」ヲ主トシタルガ近時單糸「タオル」ノ製造ニ著シク覺醒ノ跡ヲ認ムルニ至レリ又「タオル」ニ「ドビー」ノ應用益々擴ク更ニ進ンデ「ジャカード」「タオル」ニ移ラントスルノ氣運ニ逢着シツ、アリ

本場ニ於テハ此ノ間ノ氣運ニ處スル爲メ有利ナル廣幅小幅織物ノ製織、糊調合並ニ糊付法其ノ他精練、漂白染色、紋タオル製造、單糸タオル經糊及力織機ノ改良考案等ニ於テ常ニ之ガ研究ヲ試ミ又縣外先進地ノ狀勢ヲ視察シ逐次研究會、講習會ヲ開催シ當業者相互ノ研究改良ヲ促ス所アリ巡回實地指導ハ常ニ之ヲ行ヒ力

織機手直工及染色漂白等ノ三ヶ月短期講習會ヲ本場ニ開催シ當業者子弟ヲ養成セリ

四

## 第二章 試驗研究 (機織)

第一「フアンシーヤーン」ノ製造方法ノ研究 臨時報告濟

目的

本品ノ製造ニ就テハ歐米諸國ニ於テ古クヨリ研究セラレ各種製造機械ノ考案ヲ見シガ何レモ高價ニシテ複雑ナル構造ヲ有シ從ツテ其ノ製品モ自然高價ナルヲ免レズ依ツテ本場ニ於テ在來ノ「リングダブラー」ニ何等特別ノ裝置ヲ施スコトナク簡易ニ一種ノ「フアンシーヤーン」ヲ製造セントスル目的ノ下ニ本試驗ヲ施行セリ

供試原料 四〇手及一〇手單糸

試驗機械 「ボイド」式撚糸機

試驗方法

四〇手單糸二本引揃ヘタルモノヲ心糸トシテ普通ノ狀態ニ加撚シ同時ニ一〇手單糸ヲ筈形木管ニ卷キタルモノヲ「クリール」ノ一端「スレツドガイド」ノ直上ノ位置ニ懸垂シ自由ニ搖動セシメテ糸ノ受クル抵抗ヲ可及的少カラシメ之レヨリ出ヅル糸ヲ前記四〇手ニ「ガイド」ノ下方ニテ撚揃ラシムルトキハ一〇手ハ管ニ卷カセタル狀態ニ應ジ極メテ不規則ニ解舒シ來リ四〇手ノ周圍ニ纏繞ス此時ノ撚數一米ニ付

八百七十回トス

次ニ押ヘ糸トシテ四〇手單糸一本ヲ以テ同様一米八百七十回加撚ス

最後ニ前記二種ノ糸ヲ引揃ヘ反對ノ方向ニ一米百四十回加撚シ完全ニ撚揃ミ糸ヲ定着セシメテ本工程ヲ終ル

成績

前試驗ノ結果一種ノ風合ヲ有スル「フアンシーヤーン」ヲ極メテ簡便ニ製造スルコトヲ得但シ各種任意ノ糸ヲ得ル能ハザルト操作上實際ニ應用スルニ當リ一〇手ノ餘リ不規則ナル解舒ノ爲メ時々異常ニ大ナル「ノット」ヲ生ジ「トラベラー」ヲ通過スル能ハズシテ相接近セル糸ニ塌ミ切斷ヲ起スコトアルヲ缺點トス

第二、本場考案前記「フアンシーヤーン」ヲ應用シタル織物製織試驗

目的

本考案ニ依ル「フアンシーヤーン」ハ其生産費低廉ナルヲ以テ之ヲ綿織物ニ利用シ一種ノ高級毛織物代用品ノ如キモノヲ製出シ廣巾織物獎勵ニ資セントス

試驗方法

一、設計

原料

經緯共「フアンシーヤーン」

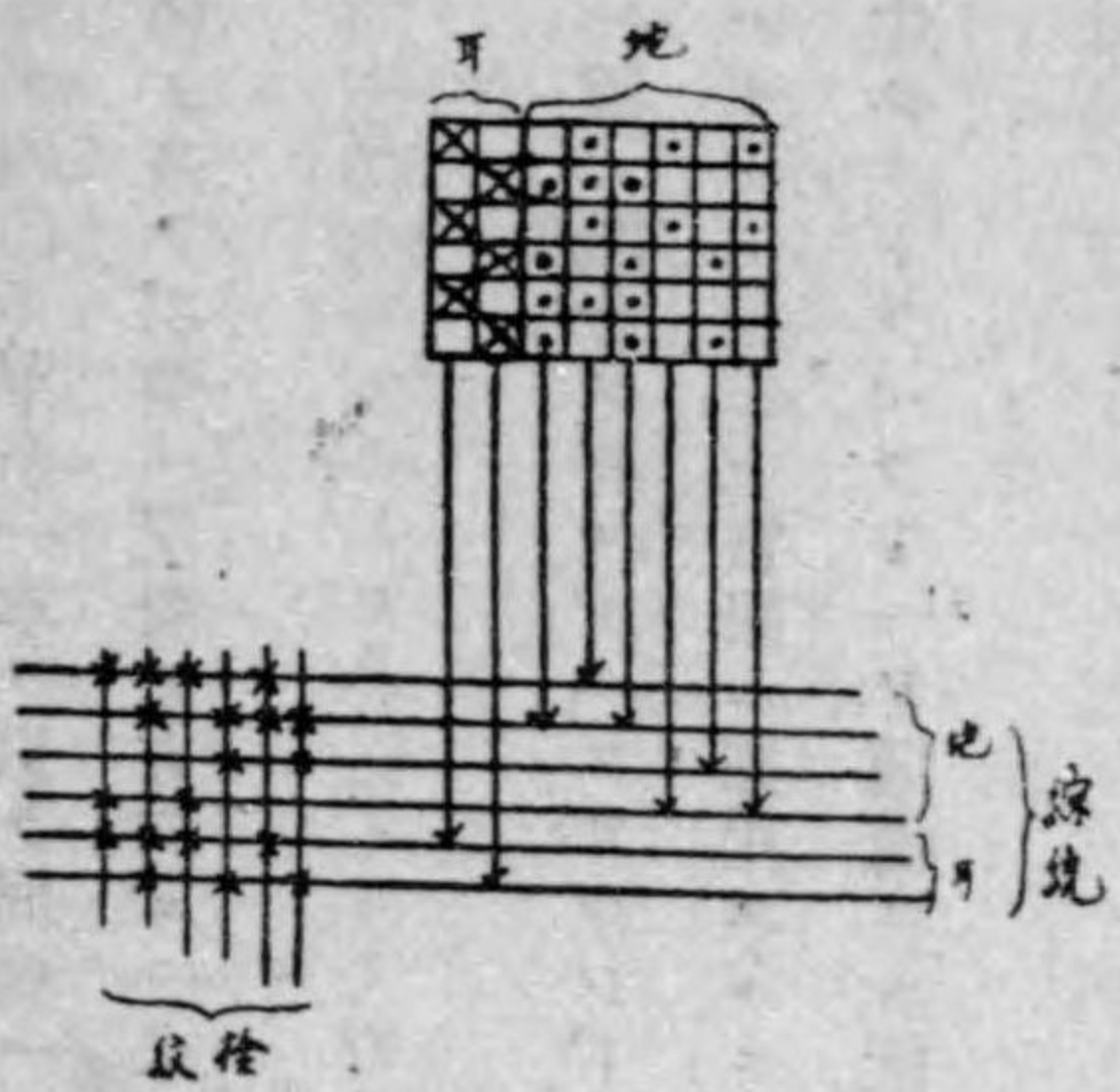
箆 鯨寸間八羽 三本入 二尺六寸幅

經糸數 地糸 六〇〇本

耳糸(四〇手三合二本引揃)片耳十二本一羽四本入

緯糸密度 鯨寸間二十四越

組織及織方



織機 ハツキング式ドビー付織機

二、染色

バット染料ニ依リ極メテ堅牢ナル染色ヲ施スコト

三、整理

「テンタリング」ヲ行フコト

成績

手觸外觀ニ於テ子供チヨツキ地トシテ好適ナル製品ヲ得タリ

第三、人絹及綿毛交織子供服地製織試験

目的

人造絹糸ノ應用ハ輒近著シク隆盛ヲ來シ謂在方面ニ其ノ流行ヲ見ツ、アリ然ルニ縣下ニ於テ之ガ應用織物ヲ製作スルモノ甚ダ尠シ依ツテ本場ニ於テ之ヲ子供服地ニ應用シ同時ニ毛綿ヲ混用シテ特種ノ風合ヲ有スル織物ヲ製造シ人絹ノ應用並ニ廣幅奨励ニ資セントス

織物設計

原料

經地 瓦斯八〇手 燃晒シルケツト

筋 人絹一二〇デニール撚

緯 地 ウーステッド六〇手 單糸  
 筋 人絹二〇〇デニール 單糸  
 箴 鯨寸間 五六羽 一羽二本入 二尺三寸五分幅  
 緯糸密度 鯨寸間一〇〇越

縞 割

經 瓦斯 八四本  
 人絹 二八本  
 計 一二二本 二三縞

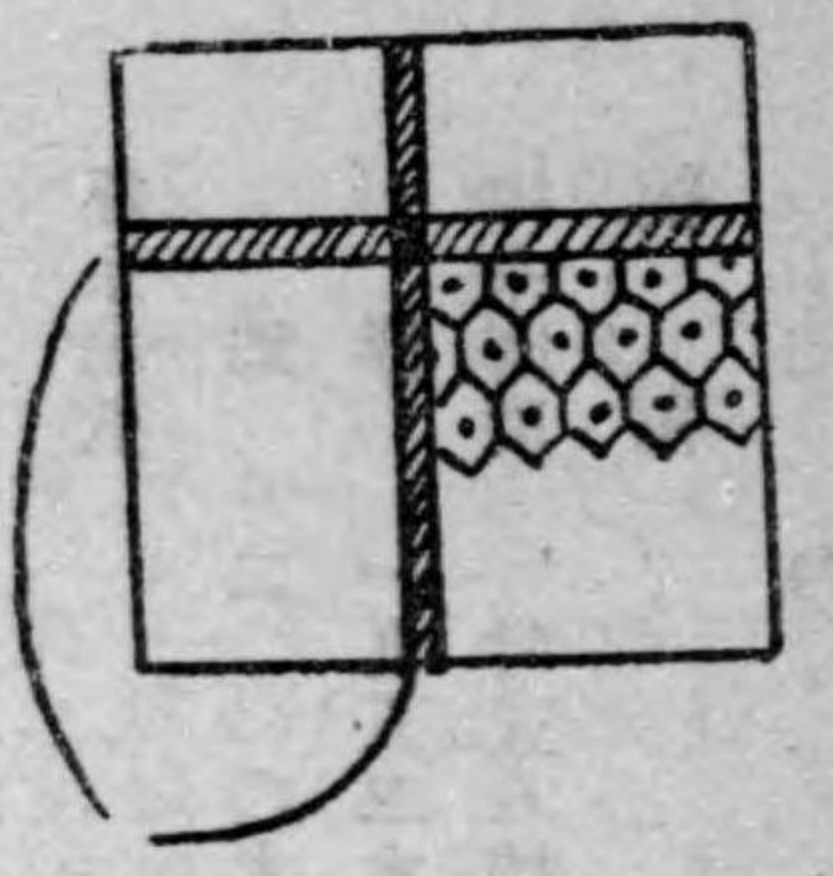
緯 毛 八〇越  
 人絹 二〇越

計 一〇〇越

組織及織方

瓦斯糸(地)綜統 一〇枚 變化バスケット  
 人絹(筋)綜統 四枚 三一斜紋

人絹 經緯共ニ人絹筋ハ斜紋組織ノ格子トス



糊 付

瓦斯一九ニ付生熟六〇夕ロード油二夕ノ割  
 人絹一貫目ニ付ソルブルヌスターチ五〇夕  
 クエリン三〇夕  
 ロード油二〇夕

織 機 「ハッキング」式ドビー付織機

染色仕上

右織リ上リタルモノヲ染色仕上ヲ施ス

結 果

三種ノ原料ヲ使用セルヲ以テ各其ノ色澤濃度ヲ異ニシ子供服地トシテ風合面白キ製品ヲ得タリ

第四、紋タオル製織試験 目的



本縣ニ於テ「タオル」ハ從來主トシテ浴用、着尺及加工地ニ限ラレタリシガ「タオル」トシテノ應用範圍ハ漸次擴大セラレ從來ノ如キ製品ノミニテハ満足シ能ハザル狀勢ヲ呈スルニ至レルヲ以テ本場ニ於テハ進ンデ高級ナル裝飾的「タオル」製品ノ製織ヲ獎勵セントシ英國ヨリ到着セル廣幅紋織タオル力織機ヲ以テ之ガ試験ヲ施行シ尙將來引續キ研究ヲ行ハントス

織物設計 第一

原料

經糸 浮糸 綿糸 一六手撚 二本引揃  
 地糸 綿糸 四二手撚 二本引揃  
 三二手撚

緯糸 八〇手 双糸

箴 吋十八羽二本入 (浮一地一) 幅五四吋

經糸總數

地 二〇〇〇本

浮 一九五二本

緯糸密度 吋五八越

縞 割

地 白

浮 黄一 綠一 赤一 綠一  
 模様 五釜 四越組織ヲ以テヲ輪奈生ゼシム

織物設計 第二

前設計同様ニシテ浮糸ノミ人絹六〇〇デニール撚ヲ用ヒタリ

織機 ハッターズレー四〇〇ハジヤカード付タオル力織機

結果

何レモ良好ナル成績ヲ收メタリ殊ニ第二設計ニ於テハ「タオル」ニ人絹ヲ應用スル最初ノ試ミトシテ如何ナル程度ノ製品ヲ得ベキヤニ就テ研究セルモノナルガ只「バイル」ノ多少抜ケ易キ缺點ヲ除キテハ「カーテン」「テーブルクロス」其ノ他裝飾方面ニ使用シ好過ナル製品ヲ得タリ

第五、人絹紡績糸應用「フアンシーグーヅ」

試験第二ニ引續キ人絹紡績糸ヲ應用シテ同様ノ「フアンシーヤーン」ヲ製造シ同一目的ノ下ニ本試験ヲ施行セリ

方法

第二試験ノ設備同様ニシテ只箴密度ヲ鯨寸間七羽トセリ

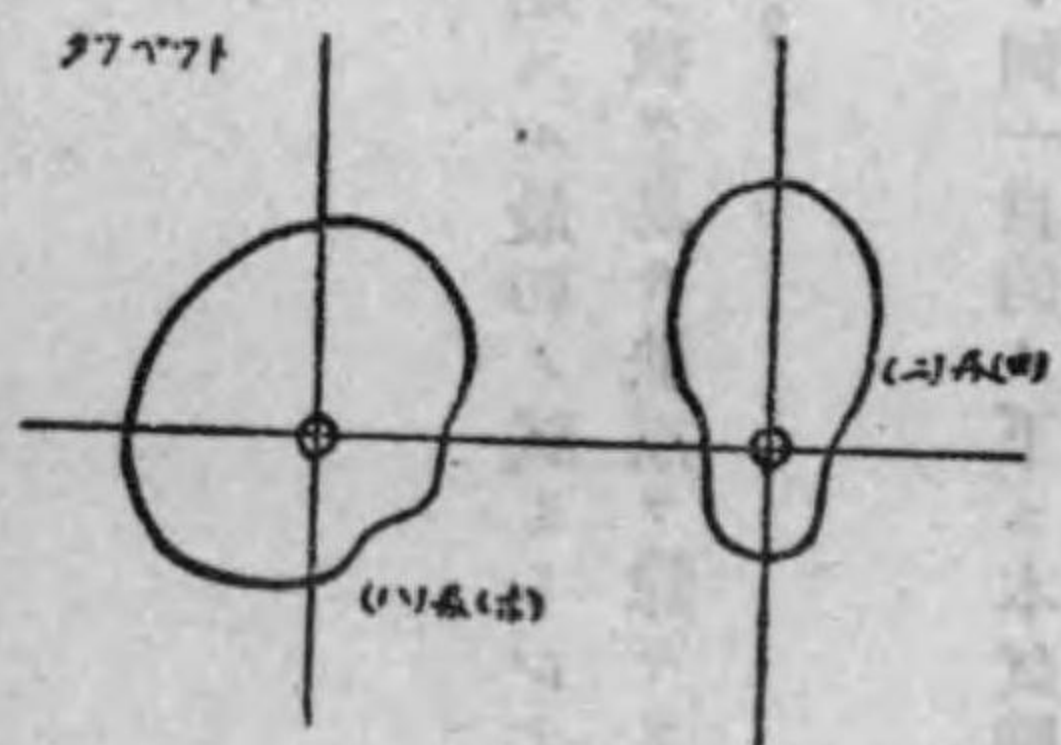
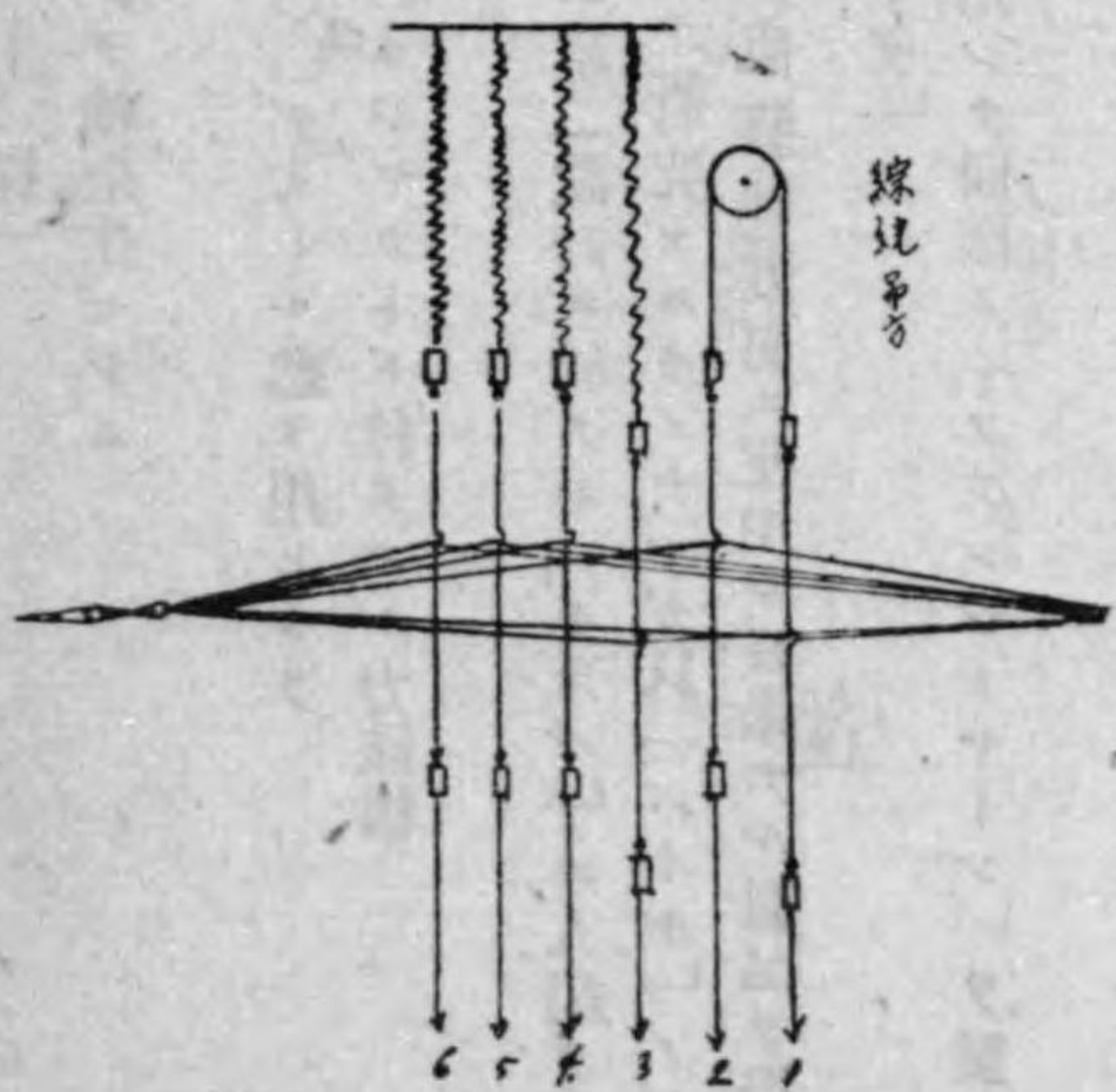
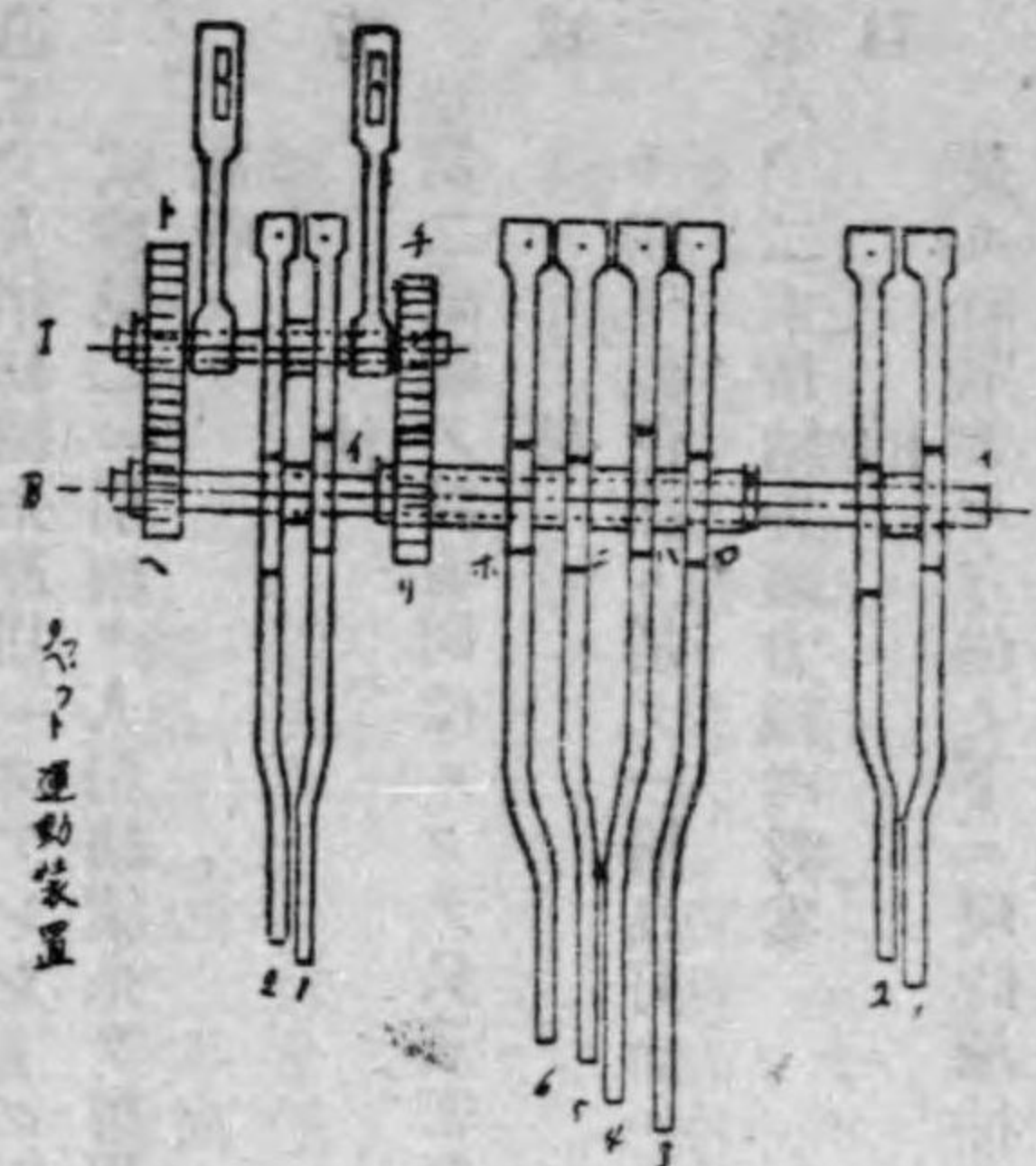
成績

手觸外觀色澤ニ於テ一層良好ナル結果ヲ得タリ

第六、二重接結袋織力織機考案

最モ簡單ナル方法ノ下ニ現時流行ノ筋入袋織手拭ヲ製造セント欲シ其ノ裝置ニ付考案設計ヲ行フ

設計



B 下軸 I 中間軸 (ハ) 及 (ト) ハート二ノ割合トス (チ) ト (リ) ハート一ノ割合トス  
 袋織タツベツト (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) ハ下軸ニ對シ「ルーズ」ニ回轉ス  
 (イ) ハ手織「タツベツト」ニシテ左右二組ヲ使用シ綜統ノ均衡ヲ保タシム

成

績

右ノ設計ニ依リ實際製織ヲ行ヒタルニ何等支障ナク回轉數百七十乃至百八十五回ニシテ調節容易ナリ

第七、織物用經糸澁使用ニ依ル試驗

目的

織物用經糸ノ強伸度ヲ増進セシメメンガ爲メ糊料中ニ澁ヲ添加ス

供試物 澁(トワドル一、八度)

試驗方法

- 一、供試物ヲ一% 二% 三% 四% 五% 一〇% 一五% 使用シ各五總宛澁付ケヲナス
  - 二、強伸度比較
  - 三、澁五%使用 及クエリン〇、五%使用セルモノ、強伸度比較但シ糊料調合割合ハクエリン試驗ト同ジ
- 試驗ノ結果 (澁使用)  
 精練、漂白、染色ニ及ボス影響

C	B		A	
	伸 度	張 力	伸 度	張 力
68	$1\frac{2}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	62
66	$1\frac{2}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	60
68	$1\frac{1}{8}$	63	$1\frac{1}{8}$	93
62	$1\frac{3}{8}$	62	$1\frac{1}{8}$	66
65	$1\frac{2}{8}$	65	$1\frac{1}{8}$	73
68	$1\frac{3}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	65
78			$1\frac{3}{8}$	65
67.857	$\frac{10.168}{8}$	65.833	$\frac{9.285}{8}$	64.857

綿糸全部切斷シタル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{8.618}{8}$  六〇、五二

E	
伸 度	張 力
1	64
1	59
1	61
$1\frac{1}{8}$	62
$1\frac{2}{8}$	55
$1\frac{2}{8}$	65
$1\frac{3}{8}$	60
$\frac{9.142}{8}$	60.857

D	C		B		A		記 號	
	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力		
$1\frac{1}{8}$	65	$1\frac{1}{8}$	60	$1\frac{1}{8}$	65	1	55	一 回
$1\frac{1}{8}$	62	$1\frac{1}{8}$	61	1	65	$\frac{7}{8}$	55	二 回
$\frac{7}{8}$	59	$1\frac{1}{8}$	65	1	55	1	58	三 回
$\frac{7}{8}$	63	1	52	$1\frac{1}{8}$	62	1	62	四 回
1	62	$1\frac{1}{8}$	62	$1\frac{1}{8}$	56	1	67	五 回
1	67	$1\frac{2}{8}$	63	$1\frac{1}{8}$		1	57	六 回
$\frac{7}{8}$	60	1	65			$1\frac{1}{8}$	60	七 回
$\frac{8.142}{8}$	62.571	$\frac{9.142}{8}$	59.857	$\frac{8.666}{8}$	60.166	1	59.142	平 均

澁使用セザルモノ  
綿糸一筋切斷シタル時

E	D		C		B		A	
	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度
98	1	61	$1\frac{1}{8}$	60	$1\frac{2}{8}$	60	$1\frac{1}{8}$	71
64	1	61	1	67	1	68	$\frac{7}{8}$	57
60	1	65	1	65	1	65	1	65
60	$\frac{7}{8}$	60	$1\frac{1}{8}$	68	1	61	$1\frac{1}{8}$	64
65	1	60	1	65	$\frac{7}{8}$	61	$1\frac{2}{8}$	67
65	$\frac{7}{8}$	62	$\frac{7}{8}$	57	1	65	$1\frac{1}{8}$	68
60	1	60	$1\frac{1}{8}$	70	1	64	$1\frac{1}{8}$	65
63.142	$\frac{7.714}{8}$	61.0	$\frac{8.285}{8}$	64.571	$\frac{8.142}{8}$	63.285	$\frac{8.714}{8}$	65.285

綿糸一筋切斷シタル時  
 澁一%使用セルモノ

伸度	張力	強伸度	E		D	
			伸度	張力	伸度	張力
$\frac{1.285}{8}$	5.715	A	$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{2}{8}$	68
$\frac{1.858}{8}$	5.667	B	$1\frac{2}{8}$	62	$1\frac{2}{8}$	65
$\frac{1.715}{8}$	8.00	C	$1\frac{1}{8}$	64	$1\frac{1}{8}$	70
$\frac{1.715}{8}$	6.428	D	$1\frac{2}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	68
$\frac{1.715}{8}$	6.428	D	$1\frac{3}{8}$	58	$1\frac{2}{8}$	66
$\frac{1.143}{8}$	4.00	E	$1\frac{3}{8}$	68	$1\frac{4}{8}$	79
$\frac{1.5}{8}$	5.75	平均	$1\frac{4}{8}$	66	$1\frac{1}{8}$	67
			$\frac{10.285}{8}$	64.857	$\frac{9.857}{8}$	69.0
						$\frac{11.0}{8}$

綿糸一筋切斷シタル時ト全部切斷シタル時ノ差  
 平均伸度 張力 六六、二七

澁二%使用セルモノ

伸度	張力	強伸度
$\frac{1.286}{8}$	6.432	A
$\frac{1.143}{8}$	4.572	B
$\frac{1}{8}$	3.571	C
$\frac{1.1}{8}$	4.571	D
$\frac{1.571}{8}$	5	E
$\frac{1.22}{8}$	4.74	平均

綿糸一筋切斷シタル時ト全部切斷シタル時ノ差

平均伸度  $\frac{9.162}{8}$  平均張力 六八、二〇

E		D	
伸度	張力	伸度	張力
$1\frac{2}{8}$	71	$1\frac{1}{8}$	65
$1\frac{1}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	65
1	68	$1\frac{1}{8}$	70
$1\frac{1}{8}$	65	1	65
$\frac{7}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	62
1	68	1	65
1	65	$1\frac{1}{8}$	67
$\frac{8.428}{8}$	68.142	$\frac{8.814}{8}$	65.571

綿糸全部切斷シタル時

平均伸度  $\frac{7.942}{8}$  平均張力 六三、四六

C		B		A	
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
$1\frac{2}{8}$	62	$1\frac{3}{8}$	63	$1\frac{2}{8}$	76
$1\frac{1}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	71	$1\frac{1}{8}$	70
$1\frac{1}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	69	$1\frac{1}{8}$	71
$1\frac{2}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{2}{8}$	69
$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	70	$1\frac{4}{8}$	73
1	62	$1\frac{1}{8}$	67	$1\frac{2}{8}$	73
$1\frac{2}{8}$	73	$1\frac{1}{8}$	67	$1\frac{2}{8}$	70
$\frac{9.285}{8}$	67.914	$\frac{9.285}{8}$	67.857	$\frac{10}{8}$	71.717

C		B		A	
伸 度	張 力	伸 度	伸 力	伸 度	張 力
$\frac{8}{8}$	68	1	68	$1\frac{1}{8}$	73
1	69	1	68	$\frac{7}{8}$	65
$\frac{7}{8}$	65	$1\frac{2}{8}$	75	1	70
$1\frac{1}{8}$	67	$\frac{7}{8}$	68	1	65
1	62	1	68	$1\frac{1}{8}$	75
1	60	$1\frac{1}{8}$	66	1	65
$1\frac{1}{8}$	68	1	69	$1\frac{1}{8}$	73
$\frac{8}{8}$	65.571	$\frac{8.142}{8}$	68.857	$\frac{8.285}{8}$	69.428

線糸全部切斷セル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6.771}{8}$  六二、三四

伸 度
1
1
$\frac{7}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{7}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{6.857}{8}$

E	D		C		B		A	
張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
60	$\frac{5}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	62	$\frac{7}{8}$	65	1	65
60	$\frac{5}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	67	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	63
60	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	65
61	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	61
65	$\frac{7}{8}$	66	$\frac{7}{8}$	58	$\frac{7}{8}$	64	1	67
62	1	60	$\frac{7}{8}$	55	$\frac{7}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	57
62	1	70	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	63	$\frac{9}{8}$	67
61.428	$\frac{6.428}{8}$	62.285	$\frac{6.571}{8}$	60.571	$\frac{6.857}{8}$	63.857	$\frac{7.142}{8}$	63.571

線糸一筋切斷シタル時

綿糸一筋切斷セル時

E	D		C		B		A	
	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
65	1	70	$\frac{5}{8}$	61	$\frac{5}{8}$	65	1	61
63	$\frac{2}{8}$	66	$\frac{6}{8}$	58	$\frac{6}{8}$	64	1	62
60	$\frac{7}{8}$	61	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	54	1	61
71	$\frac{5}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	63	$\frac{7}{8}$	63
66	$\frac{5}{8}$	59	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	70
70	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	63	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	64
65	$\frac{6}{8}$	63			$\frac{6}{8}$	61	$\frac{7}{8}$	55
65.714	$\frac{6.285}{8}$	63.0	$\frac{5.833}{8}$	60.33	$\frac{6}{8}$	61.0	$\frac{7.285}{8}$	62.285

111

綿糸一筋切斷シタル時ト全部切斷シタルトキノ差

伸度	張力	強伸度
$\frac{1.143}{8}$	5.857	A
$\frac{1.285}{8}$	5.0	B
$\frac{1.429}{8}$	5.0	C
$\frac{1.286}{8}$	3.857	D
$\frac{1.143}{8}$	4.572	E
$\frac{1.257}{8}$	4.86	平均

溢三%使用セルモノ

平均  
伸度  $\frac{8.028}{8}$  張力 六七、二〇

E		D	
伸度	張力	伸度	張力
1	61	$\frac{7}{8}$	65
$1\frac{1}{8}$	64	$\frac{6}{8}$	67
1	65	1	65
1	67	$\frac{6}{8}$	60
$\frac{7}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	71
1	65	$1\frac{1}{8}$	62
1	70	$1\frac{1}{8}$	73
$\frac{8}{8}$	66.00	$\frac{7.714}{8}$	66.142

111

伸 度	張 力	強 伸 度
$\frac{1}{8}$	2,285	A
$\frac{1,142}{8}$	4,428	B
$\frac{1,667}{8}$	4,503	C
$\frac{1,286}{8}$	3,857	D
$\frac{1,571}{8}$	5,714	E
		平
$\frac{1,334}{8}$	4,272	均

綿糸一筋切斷シタル時ト全部切斷シタル時トノ差

平均  
伸度 張力  
 $\frac{7,728}{8}$  六六、七三七

E		D	
伸 度	張 力	伸 度	張 力
1	70	$1\frac{2}{8}$	78
$1\frac{1}{8}$	70	1	70
$1\frac{2}{8}$	64	$1\frac{1}{8}$	65
1	78	$\frac{6}{8}$	66
1	73	$\frac{6}{8}$	62
1	75	$\frac{7}{8}$	62
$\frac{6}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	65
$\frac{8,142}{8}$	71,428	$\frac{7,571}{8}$	66,857

C		B		A	
伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
1	65	$\frac{7}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	62
1	63	$\frac{7}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	64
$\frac{7}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	58	$1\frac{1}{8}$	64
$\frac{7}{8}$	64	$\frac{7}{8}$	68	1	68
$\frac{7}{8}$	64	1	66	$\frac{7}{8}$	73
1	68	$\frac{7}{8}$	63	1	68
		$\frac{7}{8}$	64	1	57
$\frac{7,5}{8}$	64,833	$\frac{7,142}{8}$	65,428	$\frac{8,285}{8}$	65,142

綿糸全部切斷セル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6,394}{8}$  六二、四六五

伸 度
$\frac{7}{8}$
1
1
$\frac{6}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{4}{8}$
$\frac{6,571}{8}$



C		B		A	
伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
$\frac{4}{8}$	68	1	73	1	65
$\frac{7}{8}$	73	1	72	1	64
$\frac{6}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	66
$\frac{6}{8}$	67	$\frac{6}{8}$	69	1	69
1	70	$1\frac{1}{8}$	63	1	65
$1\frac{1}{8}$	74	1	73	1	65
$\frac{7}{8}$	69	1	73		
$\frac{7.142}{8}$	6.9857	$\frac{7.571}{8}$	70.142	$\frac{7.715}{8}$	65.666

綿糸全部切斷セル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6.018}{8}$  六三、七九九

伸 度
$\frac{5}{8}$
$\frac{5}{8}$
$\frac{5}{8}$
$\frac{7}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{5}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{5.571}{8}$

E	D		C		B		A	
張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
60	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	60
62	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	60
60	$\frac{6}{8}$	64	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	65
65	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	60	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	64
63	$\frac{6}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	65	1	60	$\frac{7}{8}$	63
60	1	63	$\frac{7}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	60
65	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	65		
62.142	$\frac{6.142}{8}$	65.0	$\frac{5.714}{8}$	65.571	$\frac{6}{8}$	64.285	$\frac{6.666}{8}$	62.0

綿糸一筋切斷セル時  
澁四%使用セルモノ

E	D		C		B		A	
	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度
68	1	70	$1\frac{1}{8}$	78	$1\frac{3}{8}$	65	1	68
65	1	75	$1\frac{2}{8}$	75	$\frac{7}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	64
67	$1\frac{1}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	65	1	62	1	65
73	$1\frac{1}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	80	1	70	7	65
65	1	65	$1\frac{1}{8}$	65	$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{7}{8}$	65
68	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	65	$1\frac{1}{8}$	70	1	70
66	1	68	1	68	1	65	$1\frac{1}{8}$	75
67.428	$\frac{8.142}{8}$	69.285	$\frac{8.714}{8}$	70.857	$\frac{8.571}{8}$	67.142	$\frac{7.857}{8}$	67.428

綿糸一筋切斷シタル時  
 澁五%使用セルモノ

伸度	張力	強伸度
$\frac{1.049}{8}$	3.666	A
$\frac{1.571}{8}$	5.857	B
$\frac{1.428}{8}$	4.286	C
$\frac{1.572}{8}$	4.285	D
$\frac{1.429}{8}$	5.0	E
$\frac{1.41}{8}$	4.619	平均

伸度綿糸一筋切斷ト全部切斷トノ差

平均  
 伸度 張力  
 $\frac{7.428}{8}$  六八、四一八

E		D	
伸度	張力	伸度	張力
$\frac{6}{8}$	63	$\frac{7}{8}$	69
$\frac{7}{8}$	67	$\frac{7}{8}$	70
$\frac{6}{8}$	65	1	68
1	68	$\frac{7}{8}$	70
$\frac{7}{8}$	68	1	73
$\frac{7}{8}$	69	$1\frac{1}{8}$	67
1	70	1	68
$\frac{7}{8}$	67.142	$\frac{7.714}{8}$	69.285

伸度	張力	強伸度
$\frac{1.428}{8}$	5.714	A
$\frac{1.286}{8}$	4.0	B
$\frac{2.286}{8}$	6.143	C
$\frac{1.429}{8}$	4.429	D
$\frac{1.572}{8}$	4.143	E
$\frac{1.6}{8}$	4.885	平均

綿糸一筋切斷ト全部切斷トノ差

平均伸度 張力  
 $\frac{9.885}{8}$  七三、三二三

E		D	
伸度	張力	伸度	張力
1	70	$1\frac{2}{8}$	73
$1\frac{1}{8}$	67	$1\frac{2}{8}$	80
$1\frac{3}{8}$	77	$1\frac{2}{8}$	74
$1\frac{3}{8}$	77	$1\frac{2}{8}$	73
$1\frac{2}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	68
$1\frac{2}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	73
$1\frac{1}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	75
$\frac{7.714}{8}$	71.571	$\frac{9.571}{8}$	73.714

綿糸全部切斷シタル時

C		B		A	
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
$1\frac{3}{8}$	82	$1\frac{4}{8}$	68	$1\frac{1}{8}$	73
$1\frac{4}{8}$	88	$1\frac{1}{8}$	77	1	68
$1\frac{4}{8}$	73	$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{2}{8}$	73
$1\frac{3}{8}$	88	$1\frac{1}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	68
$1\frac{4}{8}$	72	$1\frac{3}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	73
$1\frac{1}{8}$	83	$1\frac{2}{8}$	75	$1\frac{2}{8}$	77
$1\frac{2}{8}$	73	1	66	$1\frac{2}{8}$	80
$\frac{11.0}{8}$	77.00	$\frac{9.857}{8}$	71.142	$\frac{9.285}{8}$	73.142

平均伸度 張力  
 $\frac{8.285}{8}$  六八、四二八

伸度
1
1
1
$1\frac{1}{8}$
1
1
1
$\frac{8.142}{8}$

C		B		A	
伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
$\frac{7}{8}$	73	1	68	$1\frac{1}{8}$	74
$\frac{7}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	74	1	67
$\frac{7}{8}$	73	$\frac{7}{8}$	71	1	72
$\frac{7}{8}$	70	1	73	1	73
$\frac{6}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	70	1	74
$\frac{7}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	68	1	76
$\frac{7}{8}$	71	$\frac{7}{8}$	70	1	71
$\frac{6.857}{8}$	70.428	$\frac{6.857}{8}$	71.714	$\frac{8.142}{8}$	72.427

綿糸全部切斷シタル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6.114}{8}$  六六、五一四

伸 度
1
$\frac{6}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{7}{8}$
1
$\frac{6}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{6.857}{8}$

三三

E	D		C		B		A	
張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
63	1	60	$\frac{6}{8}$	72	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	72
60	1	60	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	65
60	1	70	$\frac{5}{8}$	68	$\frac{4}{8}$	74	$\frac{5}{8}$	65
65	1	70	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	70
67	1	69	$\frac{3}{8}$	60	$\frac{5}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	70
68	$\frac{7}{8}$	67	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	73
68	$\frac{6}{8}$	63	$\frac{5}{8}$	68	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	63
64.00	$\frac{7.714}{8}$	65.571	$\frac{5}{8}$	66.142	$\frac{4.571}{8}$	67.857	$\frac{6.428}{8}$	69.00

綿糸一筋切斷セル時

遊一(%)使用セルモノ

三三

E	D		C		B		A	
	伸 度	張 力	伸 度	強 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
65	$\frac{4}{8}$	65	1	65	$\frac{6}{8}$	63	$\frac{7}{8}$	60
70	$\frac{3}{8}$	70	$\frac{4}{8}$	70	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	62
62	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{8}{8}$	65
65	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{5}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	67	$\frac{7}{8}$	60
66	$\frac{6}{8}$	67	$\frac{4}{8}$	63	$\frac{5}{8}$	68	1	65
65	$\frac{5}{8}$	66	$\frac{4}{8}$	70	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	73
	$\frac{6}{8}$	68	$\frac{4}{8}$	70	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	60
65.5	$\frac{4.571}{8}$	66.571	$\frac{4.857}{8}$	66.857	$\frac{4.428}{8}$	65.428	$\frac{7}{8}$	63.571

綿糸一筋切斷セル時  
澁一五%使用セルモノ

伸 度	張 力	伸 強 度
$\frac{1.514}{8}$	3.427	A
$\frac{2.286}{8}$	3.857	B
$\frac{1.857}{8}$	4.286	C
$\frac{1.714}{8}$	7.133	D
$\frac{1.571}{8}$	4.285	E
		平
$\frac{1.721}{8}$	4.597	均

綿糸一筋切斷ト全部切斷トノ差

平均  
伸度 張力  
 $\frac{7.942}{8}$  七二、一一

E		D	
伸 度	張 力	伸 度	張 力
$1\frac{2}{8}$	72	$1\frac{2}{8}$	68
1	68	$1\frac{2}{8}$	71
1	65	$1\frac{2}{8}$	80
1	67	$1\frac{1}{8}$	74
$1\frac{1}{8}$	68	$1\frac{2}{8}$	74
1	68	$1\frac{1}{8}$	74
1	70	1	68
$\frac{8.428}{8}$	68.285	$\frac{9.425}{8}$	72.704

伸 度	張 力	強 伸 度
$\frac{1.714}{8}$	2.714	A
$\frac{1.714}{8}$	5.714	B
$\frac{1.285}{8}$	5.285	C
$\frac{1.429}{8}$	3.429	D
$\frac{1.333}{8}$	5.5	E
$\frac{1.495}{8}$	4.528	平 均

綿糸一筋切斷ト全部切斷トノ差

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6.66}{8}$  七〇、一二三

E		D	
伸 度	張 力	伸 度	張 力
$\frac{6}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	68
$\frac{6}{8}$	73	$\frac{4}{8}$	74
$\frac{6}{8}$	72	$\frac{5}{8}$	69
1	69	$\frac{5}{8}$	67
1	74	$\frac{7}{8}$	69
$\frac{7}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	69
		1	74
$\frac{6.833}{8}$	71.00	$\frac{6}{8}$	70.00

C		B		A	
伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力
$1\frac{2}{8}$	72	1	68	1	65
$\frac{6}{8}$	74	$\frac{6}{8}$	71	$1\frac{1}{8}$	67
$\frac{6}{8}$	69	$\frac{5}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	72
$\frac{6}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$	65
$\frac{6}{8}$	72	$\frac{7}{8}$	76	$1\frac{1}{8}$	70
$\frac{6}{8}$	77	$\frac{5}{8}$	71	$1\frac{1}{8}$	80
$\frac{5}{8}$	73	$\frac{6}{8}$	72	1	65
$\frac{6.142}{8}$	72.142	$\frac{6.143}{8}$	71.142	$\frac{8.714}{8}$	66.285

綿糸全部切斷シタル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{5.271}{8}$  六五、五八五

伸 度
$\frac{4}{8}$
$\frac{5}{8}$
$\frac{4}{8}$
$\frac{7}{8}$
$\frac{2}{8}$
$\frac{6}{8}$
$\frac{5.5}{8}$

前記成績ノ結果澁使用セルモノハ澁使用セザル綿糸ノ強伸度ニ對シ次ノ%ノ増加ヲナス

澁ナシ		強伸度
伸度	張力	
8.618 8	六〇、五二	綿糸一筋切斷
10.118 8	六六、二七	綿糸全部切斷

澁一%	澁二%		澁三%	綿糸一筋切斷	綿糸全部切斷	綿糸一筋切斷ノトキ 増加ノ%	綿糸全部切斷ノトキ 増加ノ%
	伸度	張力					
7.542 8	六二、四六	六三、四六	六二、四五	綿糸一筋切斷	綿糸全部切斷	二、四九%増	二、九二%増
9.162 8	六八、二〇	六七、一〇	六六、七七	綿糸全部切斷	綿糸全部切斷	三、〇〇%増	一、四三%増
8.028 8	六八、四一	六八、二〇	六六、七七	綿糸全部切斷	綿糸全部切斷	三、〇〇%増	一、四三%増
6.771 8	六三、七九	六二、三四	六二、四五	綿糸一筋切斷	綿糸全部切斷	二、四八%増	二、六五%増

澁四%		澁五%		澁一〇%		澁一五%	
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
6.394 8	六三、七九	6.018 8	六八、四八	6.114 8	六六、五四	5.271 8	六五、五八
7.728 8	六八、四一	7.428 8	七三、三三	7.942	七二、一一	6.766 8	七〇、一一
二五、八〇%減	五、四八%増	三〇、一六%減	一三、〇六%増	二九、〇五%減	九、九四%増	三八、八七%減	八、三九%増
二二、六二%減	三、二四%増	二六、五六%減	一〇、六二%増	二二、五〇%減	七、三〇%増	三三、一九%減	五、七九%増

澁五%使用ト「クエリン」〇、五%使用トノ糊付綿糸強伸度比較  
 前回ノ「クエリン」使用試験ノ結果「クエリン」〇、五%使用セルモノ、強伸度平均左ノ如シ

B	A	
	張力	伸度
68	$1\frac{3}{8}$	70
68	$1\frac{1}{8}$	70
70	$1\frac{2}{8}$	83
73	$1\frac{1}{8}$	73
81	$1\frac{2}{8}$	78
70	1	68
	$\frac{7}{8}$	77
71.666	$\frac{9.142}{8}$	74.14

綿糸全部切斷シタル時

平均  
伸度 張力  
 $\frac{6.042}{8}$  六七、九九四

E		D	
伸度	張力	伸度	張力
$\frac{7}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	72
$\frac{5}{8}$	65	$\frac{5}{8}$	65
$\frac{4}{8}$	70	$\frac{4}{8}$	72
$\frac{6}{8}$	66	$\frac{4}{8}$	67
$\frac{6}{8}$	70	$\frac{5}{8}$	65
$\frac{5}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	65
$\frac{5.5}{8}$	67.66	$\frac{5}{8}$	67.666

澁五%使用糊付綿糸強伸度  
綿糸一筋切斷シタル時

C		B		A	
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
1	70	$\frac{6}{8}$	65	1	60
$\frac{6}{8}$	69	$\frac{6}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	63
$\frac{6}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	75
$\frac{6}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	70
$\frac{7}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	71	1	75
$\frac{5}{8}$	66	$\frac{7}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	65
				$\frac{4}{8}$	68
$\frac{6.333}{8}$	69.15	$\frac{6.666}{8}$	67.50	$\frac{6.714}{8}$	68.0

伸度	張力	強伸度
$\frac{8.963}{8}$	六四、三二一	綿糸一筋切斷
$\frac{10.260}{8}$	七一、四一〇	綿糸全部切斷



E		D		C		
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度
$1\frac{2}{8}$	75	1	74	1	70	1
1	70	1	73	$\frac{7}{8}$	71	$\frac{7}{8}$
$\frac{6}{8}$	75	$\frac{7}{8}$	82	$\frac{7}{8}$	72	1
1	74	$\frac{7}{8}$	73	$\frac{7}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$
1	74	$\frac{7}{8}$	72	$\frac{7}{8}$	70	$1\frac{1}{8}$
1	76	1	70	$\frac{7}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$
$\frac{8}{8}$	73.33	$\frac{7.5}{8}$	73.33	$\frac{7.166}{8}$	71.16	$\frac{8.333}{8}$

平均 伸度 張力 七二、七二四  
 $\frac{8.028}{8}$

右成績ヲ「クエリン」〇、五%使用ニ比較セバ強伸度増減%次ノ如シ

伸度	張力	強伸度
三二、五八七%減	五、七一〇%増	綿糸一筋切斷ノ時
二七、八〇二%減	一、八三八%増	綿糸全部切斷ノ時

澱ノ精練、漂白、染色ニ及ボス影響

一、精練

澱付ケタル綿糸ヲ苛性曹達一%ニテ一時間精練スル時ハ綿糸ハ益々赤味ヲ帯ビ澱ハ一部「タンニン」酸曹達ヲ形成シ所有スル酸ハ遊離スルモノト考フ

二、漂白

澱ヲ使用セルモノト然ラザルモノトヲ「トワドル」一度ノ漂白液ニ一夜間浸漬漂白シ比較スルニ澱使用ニ依ル綿糸ハ澱使用セザルモノヨリ漂白ノ度劣ル

三、染色

澱使用セルモノト然ラザルモノトヲ精練シ之ヲ直接染料、硫化染料及バット染料(各々數種宛)各々一%ニテ染色シ比較スルニ各染料共ニ濃度及染色ノ状態ハ變ラザレドモ澱使用ノモノハ其ノ色相ヲ惡シクシ故ニ鮮美ヲ要スル染色ニハ使用シ難シ

第八、「クエリン」使用ニ依ル糊料試験

目的  
織物用經糸ノ強伸度及重量ヲ増加セントス  
供試物「クエリン」

試験方法  
二〇番手精練綿糸一丸ニ付左記割合ニテ糊付ヲ行フ

- (一)
- |       |      |
|-------|------|
| グエリン  | 五五々  |
| メリケン糖 | 二五〇々 |
| ヘット   | 一五々  |
| ロード油  | 二五々  |
| クレール  | 五〇々  |
- (二)
- |       |      |
|-------|------|
| メリケン粉 | 二五〇々 |
| ヘット   | 一五々  |
| ロード油  | 二五々  |
| クレール  | 五〇々  |

前記(一)(二)共ニ二総宛取り各六回宛糊付シ比較試験ス

試験ノ結果(手觸、光澤、糸捌ニ及ボス影響)

一、増量

1、「クエリン」使用ノ糊付

記號	施糊前糸量	施糊後糸量	増量	増量%	「クエリン」ノ量ヲ減ジタル増量%
A	四五、五%	五五、七%	一〇、二%	二三、四一%	
B	四七、三	五七、〇	九、七	二〇、一〇	
C	四五、五	五五、五	一〇、〇	二二、四七	
D	四五、二	五五、五	一〇、三	二三、六	
E	四五、五	五五、七	一〇、二	二三、四	
F	四五、〇	五五、〇	一〇、〇	二三、三	
平均				二三、〇八	一七、四六

2、「クエリン」使用セザル糊付

1	記號	施糊前糸量	施糊後糸量	増量	増量%
		四六、五%	五五、五%	九、〇%	一九、三五%

F		E		D		C		B	
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
$\frac{6}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	64	$\frac{6}{8}$	65	$1\frac{2}{8}$	64	$\frac{6}{8}$	70
$\frac{6}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	65	1	64	1	68
$\frac{6}{8}$	57	$\frac{6}{8}$	68	$\frac{5}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	63	1	65
$\frac{6}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	72	$\frac{4}{8}$	75	$\frac{6}{8}$	62	1	70
1	72	$\frac{6}{8}$	75	$\frac{4}{8}$	60	$\frac{6}{8}$	67	$\frac{7}{8}$	70
1	72	$\frac{7}{8}$	65	$\frac{4}{8}$	65	$\frac{3}{8}$	64	1	64
$1\frac{1}{8}$	62	$\frac{4}{8}$	67	$\frac{4}{8}$	78	$\frac{3}{8}$	64	$\frac{5}{8}$	65
$\frac{7}{8}$	65.85	$\frac{6.142}{8}$	68.0	$\frac{4.714}{8}$	68.28	$\frac{6}{8}$	64.0	$\frac{7.142}{8}$	6885

A		記號
伸度	張力	強伸度
$\frac{5}{8}$	67	No.1
$\frac{6}{8}$	70	No.2
$\frac{6}{8}$	67	No.3
$\frac{6}{8}$	60	No.4
$\frac{6}{8}$	65	No.5
$\frac{7}{8}$	63	No.6
$\frac{7}{8}$	67	No.7
$\frac{6.285}{8}$	65.57	平均

二、強伸度  
1、「クエリン」使用 一筋切斷サレタル時ノ強伸度

平均	6	5	4	3	2
	四五、五	四七、〇	四五、五	四七、二	四七、二
	五四、二	五六、〇	五四、二	五六、七	五六、〇
	八、七	九、〇	八、七	九、五	八、八
一九、二四八	一九、三	一九、四	一九、三	二〇、二	一八、六四

張力	記號	綿糸一筋切斷ト全部切斷トノ差		サレタル時		綿糸全部切斷		F		E		D	
				伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
5.43	A			平		$\frac{6.5}{8}$	68	$1\frac{2}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	70		
4.57	B			均		$\frac{6.5}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	75		
5.85	C					$\frac{7}{8}$	65	$1\frac{1}{8}$	71	$\frac{7}{8}$	75		
5.43	D					1	75	$\frac{7}{8}$	75	$\frac{5}{8}$	78		
6.57	E					$1\frac{1}{8}$	78	$\frac{7}{8}$	74	$\frac{5}{8}$	62		
5.72	F			伸張		$1\frac{1}{8}$	80	$\frac{6.5}{8}$	82	$\frac{6}{8}$	72		
	平			度力		$1\frac{2}{8}$	68	$\frac{7}{8}$	80	$\frac{6}{8}$	84		
5.595	均	$\frac{7.475}{8}$	72.353			1	71.57	$\frac{7.928}{8}$	74.57	$\frac{6.142}{8}$	73.91		

C		B		A		記號	強伸度
伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力		
$1\frac{2}{8}$	65	$\frac{7}{8}$	77	$\frac{6}{8}$	73	No.1	
$1\frac{1}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	74	$\frac{6.5}{8}$	74	No.2	
$1\frac{1}{8}$	75	$1\frac{2}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	73	No.3	
1	68	$1\frac{1}{8}$	77	$\frac{7}{8}$	63	No.4	
$\frac{7}{8}$	72	$1\frac{1}{8}$	68	1	73	No.5	
$\frac{4}{8}$	65	$\frac{6}{8}$	72	1	71	No.6	
$\frac{4}{8}$	67	1	76	1	70	No.7	
$\frac{7.285}{8}$	69.85	$\frac{8.285}{8}$	7.342	$\frac{7.214}{8}$	71	平均	

備考 張力ハ「ボンド」伸度ハ「インチ」  
「クエリン」使用 全部切斷サレタル時ノ強伸度

サレタル時		綿糸一筋切斷	
平均		伸度	張力
$\frac{6.213}{8}$	66.758		

B		A		記 號
伸 度	張 力	伸 度	張 力	強 伸 度
1	72	$\frac{6}{8}$	62	No.1
1	68	$\frac{6}{8}$	65	No.2
$1\frac{1}{8}$	68	1	67	No.3
$1\frac{1}{8}$	75	$1\frac{1}{8}$	71	No.4
1	74	$\frac{6.5}{8}$	65	No.5
$\frac{7}{8}$	68	$\frac{6}{8}$	69	No.6
1	64	$\frac{4}{8}$	64	No.7
$\frac{8.142}{8}$	69.85	$\frac{6.5}{8}$	66.14	平 均

綿糸全部切斷サレタル時

サ レ タ ル 時	綿 糸 一 筋 切 斷	E	
		伸 度	張 力
平 均	伸 張 力	$\frac{4}{8}$	63
		$\frac{6}{8}$	65
		$\frac{6}{8}$	58
		$\frac{4}{8}$	59
		$\frac{5}{8}$	60
		$\frac{4}{8}$	60
$\frac{5.448}{8}$	60.596	$\frac{4.857}{8}$	61

D		C		B		A		記 號	伸 度
伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	伸 度	張 力	強 伸 度	
$\frac{4}{8}$	54	$1\frac{1}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	61	$\frac{5}{8}$	55	No.1	$\frac{0.924}{8}$
$\frac{4}{8}$	63	$\frac{6}{8}$	58	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{4}{8}$	57	No.2	$\frac{1.143}{8}$
$\frac{5}{8}$	64	$\frac{4}{8}$	65	1	61	$\frac{6}{8}$	57	No.3	$\frac{1.285}{8}$
$\frac{4}{8}$	60	$\frac{5}{8}$	60	$\frac{7}{8}$	61	1	65	No.4	$\frac{1.428}{8}$
$\frac{5}{8}$	63	$\frac{6}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	60	No.5	$\frac{1.786}{8}$
1	61	$\frac{5}{8}$	64	$\frac{6}{8}$	60	$\frac{5}{8}$	60	No.6	$\frac{1}{8}$
$\frac{6}{8}$	60	$\frac{3}{8}$	62	$\frac{6}{8}$	58	$\frac{3.5}{8}$	60	No.7	$\frac{1.261}{8}$
$\frac{5.172}{8}$	60.57	$\frac{5.428}{8}$	61.85	$\frac{6.428}{8}$	60.42	$\frac{5.357}{8}$	59.14	平 均	

2、「クニリン」使用セザルモノ  
綿糸一筋切斷サレタル時強伸度

張力	記號	綿糸一筋ト全部切斷トノ時ノ差	綿糸全部切斷		サレタル時		E		D		C	
			伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力	伸度	張力
70	A	平均	$\frac{6}{8}$	68	$\frac{5}{8}$	59	$1\frac{2}{8}$	67				
9.43	B		$\frac{7}{8}$	68	$\frac{5}{8}$	68	$\frac{7.5}{8}$	68				
7.43	C		$\frac{6.5}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	71	$\frac{6}{8}$	70				
6.85	D		$\frac{5}{8}$	65	$\frac{5}{8}$	66	$\frac{7}{8}$	72				
7.57	E		$\frac{7}{8}$	72	$\frac{6}{8}$	71	$\frac{7}{8}$	68				
7.656	平均	伸張度力	$\frac{5}{8}$	67	$1\frac{1}{8}$	70	$\frac{6}{8}$	68				
			$\frac{6.5}{8}$	70	$\frac{7}{8}$	67	$\frac{5}{8}$	72				
			$\frac{6.77}{8}$	68.252	$\frac{6.77}{8}$	6.8252	$\frac{6.142}{8}$	67.42	$\frac{6.928}{8}$	69.28		

以上成績ノ結果「クエリン」使用ノモノハ使用セザルモノニ比シ左記張力伸度ノ増加ヲ見タリ		伸度
綿糸全部切斷ヲ以テ比較	綿糸一筋切斷ヲ以テ比較	$\frac{1.143}{8}$
		$\frac{1.714}{8}$
		$\frac{1.5}{8}$
		$\frac{0.97}{8}$
		$\frac{1.285}{8}$
		$\frac{1.322}{8}$

前記試験ノ結果

「クエリン」使用ニ依ル糊料ノ手觸、光澤、糸捌ニ及ボス影響

手觸 堅クナル  
光澤 劣ル  
糸捌 劣ル

第九、タオル捺染ニ關スル試験

目的

綿糸ヲ下漬シ製織後捺染ニ依リ經糸或ハ緯糸ニ其ノ局部的模様ヲ顯色セシメントスルニアリ

供試物

下溶解性アゾ染料

試験方法

1、下漬揮発試験

下漬液ハ無色ノ物或ハ捺染紋様ナキ部分ノ脱色ヲ行ヒ得ルモノナラザルベカラズ依ツテ左ノ如キ下漬劑ヲ用ヒテ撰擇試験ヲ行ヘリ

下漬劑

アルファーナフトール

ベタナフトール

ナフトール

同

同

同

同

同

以上ノ下漬劑ヲ

下漬劑

五 gr

RC ASSW BO BS AS

苛性曹達(ポーター) 一〇 cc

熱湯 四〇 cc

全量 二八〇 cc

ノ如キ方法ニテ溶解シ之ニ原系ヲ下漬トナシ乾燥セル後脱色劑トシテカマンガ酸加里ソービント及漂白液ヲ以テ各處理ス

結果

前三法中ソービント最モ有利効ナリ而シテ下漬劑ハ「ナフトール」AS容易ニ白色トナルモSB BO「ベタナフトールアルファーナフトール」ハ脱色困難ナリ故ニ下漬劑ハ「ナフトール」SAノ使用ヲ有利トス

2、捺染試験

イ、下漬法

下漬劑溶解法

ナフトール AS

五 gr

苛性曹達(ポーター) 二二度

一〇 cc

湯

四〇 cc

全量

二八〇 cc

四%六%ノ下漬劑ヲ採リ右ノ如キ方法ニテ溶解シ此ノ溶液ニテ原糸ヲ二〇分間浸漬シテ平等ニ絞リ直射日光ヲ避ケツ、乾燥後緯糸トシテ製織シタル後捺染ス

ロ、捺染法

此ノ捺染糊ニ用ユル生麩ハメリケン粉一ニ對シテ水一ノ比ニ混ゼルモノヲ用ユ

(1)、フアストカラーレットソルトGG捺染

捺染糊製法

フアストスカラーレットソルトGG

五gr

湯

四〇cc

食鹽

六gr

以上ヲ能ク混合溶解セシメ

糊

三五gr

ヲ加ヘテ充分ニ熱ス

以上ノ捺染糊ヲ以テ捺染シ乾燥セル後充分水洗シ二%ノ石鹼熱液ニテ二〇分間ヅツ二回「ソーピング」ヲ行ヒ取出シテ水洗乾燥ス

(2)、フアストオレンヂソルトG捺染

捺染糊製法

フアストオレンヂソルトG

四gr

湯

四〇cc

食鹽

六gr

以上ヲ能ク混合溶解セシメ

糊

三〇gr

ヲ加ヘテ熱ス

以上ノ捺染糊ヲ以テ捺染シ乾燥セル後充分水洗シ二%石鹼熱液ニテ二〇分間宛二回「ソーピング」ヲ行ヒ取出シテ水洗乾燥ス

(3)、フアストエローソルトG捺染

捺染糊製法

フアストエローソルトG

四gr

湯

四〇cc

食鹽

六gr

以上ヲ能ク混合溶解セシメ

糊

三五gr

ヲ加ヘテ熱ス



以上ノ捺染糊ヲ以テ捺染シ乾燥後充分水洗シニ%石鹼液ニテ二〇分間宛二回「ソーピング」ヲ行ヒ水洗乾燥ス

(4)、フアストブルーRyルトB捺染

捺染糊製法

フアストブルーB

五 g<sup>1</sup>

熱湯

四〇 cc

醋酸曹達

五 gr

以上ヲ能ク混合溶解セシメ

糊

三〇 gr

ヲ加ヘテ熱ス

以上ノ捺染糊ニテ捺染シ乾燥スルコト約五分ノ後充分水洗シニ%石鹼液ニテ二〇分間宛二回「ソーピング」ヲ行ヒ水洗シ「ボーメー」一度ノ漂白粉液ニ三〇分間浸シテ強硫酸ヲ以テ處理シ水洗乾燥ス

結果

以上試験ノ方法ニ記セル捺染方法ニ依リ「タオル」ノ經系或ハ緯系ニ緋風ノ模様ヲ顯色セシムルコトヲ得其ノ成績良好ナリシヲ以テ之ガ實地應用ニ付尙探究セムトス

第十、グイスコーヌ絹糸黒染試験

目的

人造絹糸ハ近時各地ニ於テ使用セラレ着尺物トシテハ直接染料ヲ使用シテ、有レドモ「フアンシーヤーン」用人造絹糸ノ如キハ堅牢ニシテ色澤觸感ノ優良ナル且經濟的ノ染色方法ヲ探ラザルベカラズ就中黒染ニ於テハ殊ニ其必要ヲ感ズ

人造絹糸ノ黒染ヲ行フニ直接染料ノ顯色黒硫化染料黒建築染料黒等ヲ以テ堅牢黒色ヲ得ントナセ共光澤及透シノ点ニ於テ優良ナル深黒色ヲ得ル能ハズ依テ次ノ試験ヲ行ヒ漆黒色ヲ得ントスルニ在リ

供試物

帝國人造絹糸株式會社製品二五〇デニール單糸

染色方法

先ヅ温湯ヲ以テ濕潤セシメタル可檢物ヲ左表ノ如ク各種ニ分チ染色シ比較ヲナス尙染色シタルモノハ次ノ如キ「オイリング」ヲ行フ

記號	染料ノ種類	染色方法	色相	肉	透シ	光澤	堅牢度
A	直接染料	一般ノ方法ニ依ル	可	不可	不可	不可	不可
B	同	Aヲ顯色劑ニテ顯色ス	可	可	稍可	稍可	稍可

K	J	I	H	G	F	E	D	C
同	建築々料	同	同	同	同	硫化染料	同	同
Hト同処理ヲナス	一般染法ニ依ル	Hヲ染色スルニ當リ硫化染料青六%ヲ配合染色ス	Gノ處理ニ醋酸ヲ加フ	Eヲ「オリーブ」油ノ「エマルジョン」ニテ二十分處理ス	Eヲ鹽基性染料ニテ上掛ス	一般染法ニ依ル	Bヲ鹽基性染料ニテ上掛ス	Aヲ鹽基性染料ニテ上掛ス
同	可	同	同	同	同	同	同	可
可	不可	同	同	可	不可	同	同	可
同	稍可	可	同	稍可	不可	同	同	稍可
可	不可	同	可	同	同	不可	稍可	不可
同	同	同	同	可	不可	可	稍可	不可

オリーブ油ノ「エマルジョン」ハ可檢物各種ニ一%ヨリ五%迄取り之ニ約二分ノ一量ノ炭酸曹達ヲ少量ノ温湯ニ溶シ加ヘタルモノヲ以テ處理セルニ四%ノモノ比較的良好ナリシヲ以テ之ヲ施行セリ之ヲ

乾燥スルニ當リ輕ク脱水機ニ掛ケ大氣乾燥ヲナス乾燥間際ニ二三回手ニテ輕ク棧打ヲナス

結果

以上試験ノ結果稍良好ナリシニI方法ニ付更ニ左記ノ試験ヲナセリ

- 1、クリオゲンブラック TBO 三〇% 硫化ソーダ 二四% 攝氏八十度ニテ四十分間染色ス
- 2、チオキシソフブラック TGE 一〇% クリオゲンブラック TBO 二〇% 硫化ソーダ 二四% 其他同上
- 3、クリオゲンブラック TBO 二〇% フリオゲンブラック TGO 一〇% 硫化ソーダ 二四% 其他同上
- 4、帝國ブラック B 三〇% 硫化ソーダ 一五% 其他同上
- 5、クリオゲンブラック TBO 三〇% 其他同上

硫化ソーダ

三〇%

其他同上

6、帝國ブラック

B

三〇%

クリオゲンブリリアントブルー

六%

硫化ソーダ

二一%

其他同上

上記可檢物ヲ染色シタル後I方法ニ依リ「オイリング」及色相附與方法ヲ講ジタリ

色澤堅牢度觸感等(6)最モ良好ニシテ(5)之ニ亞ギ(4)(1)(2)(3)ノ成績ヲ得タリ

第十一、酸性媒染々々料染色堅牢度試験

染色方法

染料

一%

硫酸曹達(四溶液%)

一、五%

醋酸(八溶液%)

一、五%

液量

布ノ二十倍量

温度及時間

八十度乃至八十五度ニテ三十分間浸漬シ水洗ス

重クロム酸加里

〇、五%

液量

布ノ二十倍

温度及時間

八十度乃至八十五度ニテ二十分間浸染シ水洗ス

染色堅牢度試験方法

酸 試 驗

醋酸一%溶液ヲ攝氏四十度ニ温メ十分間浸漬シ取出シ水洗シ(染布ニハ白布ヲ添付ス)變色褪色ノ程度ヲ檢ス

曹 達 試 驗

炭酸曹達一%溶液ヲ沸騰セシメ其中ニ十分間浸漬シ水洗シ前同様其ノ結果ヲ檢ス

石 鹼 試 驗

マルセル石鹼〇、五%溶液ヲ沸騰セシメ其中ニ可檢物ヲ十分間浸漬シ水洗シ前ト同様ニ結果ヲ檢ス  
日光試験染糸ヲ直射日光ニ曝シ其ノ結果ヲ檢ス  
時間五〇時間(六日)  
堅牢度ヲ左ノ四種トス

第一位 最堅牢色

第二位 堅牢色

第三位 稍堅牢色

第四位 不堅牢色

名	稱	酸試					曹達試		石鹼試		日光試		
		褪色	變色	添布	汚染	褪色	變色	褪色	變色	添布	汚染	褪色	變色
プリ、アント	クロム スカーレット	一	一	一	一	四	二	三	三	二	二	二	二
ダイヤモンド	レッド 5 B	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二
フワスト	レッド A F	一	一	一	一	二	三	三	二	二	二	二	二
ダイヤモンド	レッド 3 G	一	一	一	一	一	二	二	二	一	二	二	二
アリザリン	ルビン G W	一	一	一	一	四	一	四	三	一	二	二	二
バラチン	クロムクラレレット	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	一	一
クロムフワスト	レッド B D	一	一	一	一	二	一	二	二	一	二	二	二
アンストラ	センレッド 5 2 4	一	一	一	一	二	一	二	二	一	一	三	三
ダイヤモンド	ボーダックス R	一	一	一	一	三	一	二	二	一	一	二	二

クロスレッド	BC	一	一	一	一	三	三	二	二	二	二	二
エリオプリ、アント	ブルー	一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	二
アシット	クロムブルー 3 G	一	一	一	一	二	二	二	二	一	一	二
サルフォン	サイアミン GR	一	一	一	一	三	三	一	一	二	二	二
アンストラ	サイアミン 3 FL	一	一	一	一	二	二	二	二	一	一	二
アリザリン	スカイブルー FF	一	一	一	一	三	三	二	二	二	二	四
クロム	オキサンプリ、ント	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	二
アンストラ	サイアミン RL	一	一	一	一	二	二	三	二	二	二	二
クロム	オキサンプルー RD	一	一	一	一	二	一	二	二	一	一	一
アンストラ	サイアミン 3 GL	一	一	一	一	三	二	三	二	二	二	二

アンスラサイアニン	BL								
モノクロムグリーン	B								
コエルシイブ	SW	二							
サリシンドークグリーン	CSF	一							
三井酸性媒染グリーン	B	一							
クロムフワストブロン	R	一							
エリオクロムバードン		一							
サリシントクロムブロン	CS	一							
コンク		二							
ガレインTRG	ベ	一							
ベスト		二							
アシットアンスラセン	ブラウ	二							
ンRH	コンク	二							
		一							
		二							
		二							
		一							
		二							

ナフトクロムアリザリン	B	一							
三井酸性媒染ブルー	3G	一							
サリシエンエロー	A	一							
アシッドアリザリン	エロー	一							
エリオクロムエロー		一							
エキサンスリン		一							
ペルシヤンベリ	ー	一							
エキストラ	コンク	二							
クロムフワストエロー	RD	一							
ダイアモンドクリン	SS	一							
ダイモンドグリーン	B	二							
		一							
		二							
		一							
		二							
		一							
		二							
		一							
		二							

アリザリンフワストブラックST	ニ	一	一	二	三	三	二	二	二
ニューフワストグレーコンク	二	一	一	一	一	一	一	一	一
ナフチラミンブラック四BG	一	一	一	三	四	四	三	三	一
ナフチラミンブラック4N	一	一	二	三	四	四	三	三	一
ナフチラミンブラック四BKコンク	一	一	二	二	四	四	三	二	三
アチデインブラックBBエキストラコンク	二	一	三	三	二	三	一	四	四
バラチンブラック四B	二	三	三	四	四	二	二	三	三
ブルーブラックフオウハーフウールG	一	一	二	一	三	三	二	三	三
セルシンプラックDコンクM4	一	一	二	二	三	三	三	二	二
セルシンプルーブラックAコンク	二	一	二	二	三	一	二	二	二

アンストラサイアニンプラウン RL	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ナフトクロムクゲラーRコンク	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ナフトクロムブルーGコンク	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ナフトクロムアズロールSコンク	二	一	一	三	四	四	一	一	二
アンストラセンプロン	一	一	一	一	一	一	一	一	一
酸煤プラウン2R	一	一	一	三	三	三	二	二	二
三井酸煤プラウン	一	一	一	三	三	三	二	二	二
ダイアジンブラック3843E	二	二	二	二	二	二	二	二	二
アシッドクロムブラックSTC	一	一	二	二	二	二	一	一	一
ダイヤモンドブルーブラック BR	一	一	二	二	二	二	二	二	二



玩具製造用糊料乾燥劑及其試驗  
 松脂溶劑ニ關スル試驗  
 スター防水原料効力試驗  
 澱漂白ニ關スル試驗  
 織色木綿經糸張力増進ニ關スル試驗  
 パーベントール應用綿糸漂白試驗  
 クエリン應用ニ關スル試驗  
 海老茶木綿染色方法  
 ポプリン染色ニ關スル試驗  
 海蘿漂白ニ關スル試驗  
 帆布防水塗料ニ關スル試驗  
 サイゾール應用糊料經濟試驗  
 耐漂白綿糸染色法  
 硫化染料ブルー比較試驗  
 硫化黑色染料光澤附與試驗  
 タオル糊料アルゲン液應用試驗

一 一 七 二 一 一 一 二 二 二 一 二 一 一 一 一

タオル浮糊料ニ關スル試驗  
 子供服地染色ニ關スル試驗  
 柞蠶糸黒染ニ關スル試驗  
 タオル筋糸染色ニ關スル試驗  
 シルケット漂白ニ關スル試驗  
 木綿手袋染色試驗  
 人造絹糸染色試驗  
 織色木綿用糊料經濟試驗  
 ナフトール捺染應用試驗  
 エルガン染料捺染試驗  
 ネオラン染料染色並堅牢度試驗  
 化學藥品定性分析  
 糊料定性分析  
 水 分析  
 コットンワリーラー分析  
 染料鑑定

一 二 二 六 二 一 九 〇 六 三 二 九 二 三 五 一 一 三



綿糸精練分析  
 紺サージ服地堅牢度試験  
 炭酸カルシウム分析  
 纖維上染料鑑定

タオル整理試験  
 裏地整理  
 紺綾整理  
 油團整理  
 蒲團地整理  
 輸出綿布整理  
 ポブロン整理

計

第四節

實地指導郡市別表

一六三  
 一 二 一 二 二 四 二 (整理)  
 七 一 二 一

郡市名	機件		郡市名	機件	
	織	染色整理		織	染色整理

計	鈴鹿郡	多氣郡	飯南郡	一志郡	安濃郡	河藝郡	三重郡	員辨郡	桑名郡
一三〇	一	五	三三	七	三	二一	一五	三	七
二二二	一	二	四九	七	一七	四六	二七	一七	二二
	北牟婁郡	南牟婁郡	宇治山田市	四日市	津市	志摩郡	名賀郡	阿山郡	度會郡
			七	三	二三	一	一	二	一
	三	四	三	二	二一	一	一	五	五

第五節 實地指導並ニ質疑應答

種別

件數

- 糊調合ニ關スル件
- 織物組織分解ニ關スル件
- タオル織機ニ關スル件
- 人絹取扱ニ關スル件
- 力織機据付ニ關スル件
- タオル經糊ニ關スル件
- 力織機調節ニ關スル件
- 整經機取扱ニ關スル件
- 糊付ニ關スル件
- 力織機改造ニ關スル件
- 人造絹糸應用ニ關スル件
- 織物缺点防止ニ關スル件

二五

二三

五

三

五

六

二三

三

一〇

四

三

七

(染色)

- 生麩漂白ニ關スル件
- ナフトール染料染色ニ關スル件
- 漂白棉花脫鹽素劑ノ件
- 硫化染料後處理ニ關スル件
- タオル浮糊料ニ關スル件
- ソーダスト接合糊ニ關スル件
- 糊料鑑定ニ關スル件
- 糊調製劑ノ件
- タオル捺染ニ關スル件
- バームチツト及染料ニ關スル件
- サイジングニ依ルタオル浮糊料ニ關スル件
- タオル仕上並ニ漂白ニ關スル件
- コットンリラーニ關スル件
- 水質ニ關スル件
- 染料鑑定ニ關スル件
- 夜具地染色ニ關スル件

二

八

二

三

六

一

三

一三

二

一

一

五

二

二

四

四

苛性ソーダ溶解量とボーメー度数との関係ニ關スル件 一  
 メリヤス厚子硫化染色ニ關スル件 一  
 水中鐵分除去ニ關スル件 四  
 パットカラー染色ニ關スル件 二  
 光彩眞珠ニ關スル件 二  
 模造眞珠並黒竹製造ニ關スル件 一  
 タオル施糊並ニ染色ニ關スル件 六  
 クエリンニ關スル件 四  
 スリツバ染色ニ關スル件 一  
 木材ノ黒色味脱色ノ件 一  
 エルガン染料染色ノ件 三  
 服地染色堅牢度試験ノ件 二  
 防水塗料ニ關スル件 二  
 竹材防虫特許ノ件 五  
 糊調製劑並ニ施糊ニ關スル件 一  
 硫化染料比較試験ノ件 三

貝細工ニ關スル件 一  
 後晒タオルニ關スル件 三  
 環流漂白機ノ件 二  
 子服地染色ニ關スル件 五  
 栗皮越幾スローハ染斑修正ニ關スル件 一  
 タオル筋糸染色ニ關スル件 二  
 アルゲン液ニ關スル件 二  
 タオル改良ニ關スル件 二  
 ナフトール引染ニ關スル件 二  
 水質ニ關スル件 四  
 汚点抜きニ關スル件 二  
 納戸用硫化染料ニ關スル件 二  
 硫化染料染色ニ關スル件 二  
 綿糸精練液苛性ソーダ含有量ニ關スル件 一  
 皮革染色ニ關スル件 一  
 硫酸曹達使用ニ關スル件 一



小服地仕上ニ關スル件  
 人造絹糸仕上ニ關スル件  
 人造絹糸仕上油ニ關スル件  
 廣巾織物仕上考案ニ關スル件  
 ポプリン仕上ニ關スル件  
 着尺物整理ニ關スル件  
 織色木綿整理ニ關スル件  
 服地整理ニ關スル件  
 後晒タオル整理ニ關スル件

第六節 特別會計

本年度ニ於テハ財界不況ノ爲メ當業者ノ依頼加工數前年度ニ比シ約三分ノ一減少セルモ試驗ノ實地用ニ依ル生産高ハ稍ヤ増加セリ

第一、本年度ニ於ケル製作數量左ノ如シ

種類	品名	數量	種類	品名	數量
絹綿毛交織	子服地	九〇碼	綿織物	晒木綿	一六反ト三切

三 四 一 二 三 二 二

第二、染色加工數量左ノ如シ

種類	品名	數量	種類	品名	數量
同	布團縞	九一反	同	タオルハンカチ	一七打
綿織物	同	一〇反	同	ガーゼ手拭	八打ト一〇枚
同	葛城織	二三、一六五碼	絹綿交織	久米縞	四反
同	ポプリン織	一、四四〇碼	同	網目ワイシャツ地	二五碼
同	白縞格子	四一反	綿麻交織	白縞	一八反
同	六ツ綾織	二、九五八碼	計		二八、六九一碼 一八〇反ト三切
同	天竺	一、〇一三碼			

種類	品名	數量	種類	品名	數量
漂白	タオル	一二五打	漂白	麻	四七五匁



依頼加工手数料	二、〇二三、八二〇	織物及依頼加工原料購入費	一〇、五八七、〇二〇
資金預金利息	—	公課	二九、六八〇
繰越金	四、五四七、七三二	機械購入設備費	二四、〇七〇
雑収入	四一、四〇〇	收支差引現現金額	四、七二〇、〇二二
年度末原料残高	六三〇、九四〇	年度末資産現在金額及原料製品残高合計	一二、四〇八、七〇〇
同製作品残高	一、五三八、二九八	年度末資産ノ増加即チ實際ノ利益額	六一〇、五四八
原料製品残高計	二、一六九、二三八		

### 第二章 圖案部

#### 第一節 實施ノ概要

時代ノ推移ト經濟的要求ハ最近必然的ニ工業品及工藝美術品ノ能ク改善發達ヲ促シ來リ從ツテ夫等ニ對スルニ意匠圖案ヲ指導シ改良ノ徹底ヲ期スル爲メ本縣特有物産タル將來益々新生面ヲ開キ得ベキ萬古燒或ハ美術献上品トシテ最モ價値ヲ保タシムル爲メノ陶磁器製品ノ上ニ出來得ル限リ努力ヲ盡セリ尙既成商品或ハ未製品廣告ノ爲メ新シキ「レットアル」ヲ調製交付シ或ハ製品ニ對スルニ相當ノ批判ヲ下シテ以テ指導シ一般の商品及美術工藝品ノ價値ヲ能ク向上シ需要ヲ喚起セシムベク努メタリ

#### 第二節 圖案調製

種別	件數	種別	件數
窯業圖案(陶磁器着書共)	四三三	箱圖	二
表紙圖	二五	風呂敷圖	一
カット圖	五八八	包紙圖	三
ボスタ	一〇	袋圖	三
行燈圖	二	レツタル圖	一五
陳列棚圖	二	カタオタル圖	二一
手拭圖	一	カーテン圖	六
褒狀圖	五	計	一一二六
器具圖	九		

備考 件數ハ枚數及個數ニテ依頼及試驗研究ノ目的トス

#### 第三節 實地指導郡市別表

郡市別	件數	事項
郡		
市		
別		
件數		
事項		
項		

桑名郡	八	漆器陶磁器ニ關シ
三重郡	一	織物及陶磁器ニ關シ
阿山郡	一	陶磁器ニ關シ
四日市	一三	同上
津市	七	織物、漆器、陶磁器ニ關シ
計	三〇	

### 第四節 質疑應答

件名	件數	件名	件數
裝飾ニ關スル件	五	印刷ニ關スル件	一〇
陶磁器圖案ニ關スル件	三五	ボスター製造ニ關スル件	九
着畫(陶磁器)ニ關スル件	二〇	陳列戸棚裝飾ニ關スル件	一二
計	九一		

## 第三章 窯業部

### 第一節 實施ノ概要

大正萬古ハ最近其ノ技術上ニ於テモ亦生産能率上ニモ著シキ發達ヲ遂ゲ其ノ生産逐年増加シツ、アルモ一面粗製濫造ニ陥リ易ク加之日用必需品トシテハ缺点多クアルヲ以テ之ガ缺点ノ防止ニ付大正十一年以來左ノ各項ニ付各種ノ試験ヲ重ネ成績良好ナルモノヲ當業者ニ示シ漸ク之ガ改善ヲ見ルニ至リタルモ尙進ンデ研究シツ、アリ

- 一、着色釉應用ニ依ル缺点防止
- 二、龜裂防止
- 三、素地ノ改良

#### 伊賀焼

在來品ノ土鍋、行平ニ代フルニ日用食器類又ハ火鉢等ヲ以テセンガ爲メ同地方ヨリ産スル原土ヲ主体トシ日用食器ニ屬スル素地及釉藥ハ俗ニ「仁清」ト稱スル如キモノニ類似シ其ノ器物ニ應ジテ下繪及上繪付等ヲ施シ一面火鉢類ニ於テハ支那製(ナマコ釉)ニ類似シタルモノ、試験ヲ行ヒ相當ノ成績ヲ上ゲ得タル爲メ之ガ指導ヲ行ヒタル結果今ヤ兩者共ニ一般市場ノ需要ヲ喚起シ前途稍ヤ曙光ヲ認ムル端緒ヲ得タリ

### 第二節 試驗研究

現時萬古焼ニ於テ匣鉢類製作ニ使用スル木節土ハ何レモ他府縣ヨリ仰グモノニシテ其ノ消費量昨年度(一月ヨリ十二月マデ)ノ如キハ一、八〇〇噸ニ達セリ而シテ縣下名賀郡ヨリ産スル木節土ハ未ダ採掘シ居ラ



ザルモ其ノ產出量豊富ニシテ耐火度ゼーゲル三十番内外ヲ有シ鐵分ノ含有量比較的多キ爲メ之ヲ以テ白色素地ヲ作ルコトハ不可能ナルモ匣鉢類ノ製作ニハ毫モ差支ナキニ依リ今後ハ縣產ノモノヲ使用スベク各種ノ試験ヲ行ヒタリ

匣鉢坏土調合

No.	名賀木節	三石	燒粉	No.	名賀木節	三石	燒粉
1	60グラム	1グラム	40グラム	7	60グラム	30グラム	10グラム
2	60	5	35	8	60	35	5
3	60	10	30	9	60	40	1
4	60	15	25	10	65	1	3.5
5	60	20	20	11	65	5	3.0
6	60	25	15	12	65	10	2.5
13	65	15	20	19	70	5	2.5
14	65	20	15	20	70	10	2.0
15	65	25	10	21	70	15	1.5
16	65	30	5	22	70	20	1.0

17	65	35	1	23	70	25	5
18	65	1	30	24	70	30	1

名賀木節ハ耐火度三十番強ヲ有シ之ヲ粉末トシテ水籤ヲ爲ストキハ三六、八%ノ水籤正味ヲ得ベシ又之ヲゼーケル十番ニテ燒成スルトキハ暗灰色ヲ呈ス  
 本試験ニ依ル匣鉢坏土ニ使用セシ木節ハ探掘狀ニ於ケル原土ヲ乾燥シテ粉末トシ五厘目篩ニテ篩ヒタルモノナリ

三石ハ岡山縣ヨリ移入シ來ルモノニシテ其ノ粉末度ニ於テハ一般ニ使用セララル、モノト異ナルコトナシ  
 燒粉ハ破損セシ匣鉢棚板其他ノ耐火材料等ノ破片ヲ粉末ト爲シ二厘目篩ニテ篩ヒタルモノナリ  
 上記ノ調合法ニ依リテ之ヲ見ルニ一般ニ木節土ノ増加スルニ從ヒテ粘力増大スルヲ以テ成形シ易ク「No.1」  
 「No.24」ノ何レニテモ六寸八分平方深サ三寸五分厚サ五分ノ匣鉢ヲ「ハンドプレス」ニテ製作シ此等各種ノ匣鉢ヲ實際ニ使用シ其ノ耐久カラ比較セシニ就中成績良好ナルモノハ  
 No.12  
 No.13  
 No.20  
 No.21  
 ノ四種ナリ

第三節 實地指導郡市別

郡	市	別	件數	郡	市	別	件數
三	重	郡	一〇	多	氣	郡	一
桑	名	郡	二	四	日	市	一〇

阿 山 郡	七	山 田 市	一
賀 山 郡	二	計	三三

九二

第四節 實地指導及質疑應答

件名	件數	件名	件數
半磁器素地ノ件	四	マツト釉ノ件	二
大正萬古素地ノ件	一三	蕎麥釉ノ件	二
硬質陶器素地ノ件	五	大正萬古釉ノ件	四
化粧掛ケノ件	三	天目釉ノ件	二
鑄込素地ノ件	二	樂燒釉ノ件	六
匣鉢素地ノ件	八	伊羅保釉ノ件	二
キユベル素地ノ件	二	フリットノ件	五
青磁釉ノ件	四	硬質陶器釉ノ件	三
飴釉ノ件	三	水金ニ關スル件	二
ナマコ釉ノ件	五	珪石ノ件	一

石灰釉ノ件	六	木節粘土ノ件	三
瓦釉ノ件	一〇	長石ノ件	三
下繪具ビンクノ件	二	石灰石ノ件	一
同 綠色ノ件	三	輕石利用ノ件	一
同 茶色ノ件	四	比重瓶使用法ノ件	二
同 ビーコックノ件	二	煙突ノ高サ決定ノ件	一
同 黑色ノ件	三	セメント瓦ノ件	二
同 紺青色ノ件	二	火山灰ノ件	一
セメント試験ノ件	二		
計	一三六		

第四章 釀造部

第一節 實施ノ概要

清酒ニ在リテハ釀造着手期ニ於テ近年稀ナル氣候温暖ナリシト米質ノ地方産米ガ概シテ良好ナラザリシ關係ヨリ弱性酒母ヲ釀出セラレ爲メニ一部變兆醪ヲ現出シタルモ其ノ後間モナク氣温順調ニ恢復シ且ツ原料

米ノ精撰ニ相當苦心ヲ拂ヒ處理ニ操技ニ意ヲ用ヒタリト尙且ツ一般的ニ原料米精白度ノ向上ニ努メタル結果相當優良酒ノ釀出ヲ見タリ因ニ本年度縣下ニ於ケル造石數ハ約十萬石、二百六十工場ニシテ其ノ内腐造ノ災危ニ罹リタルモノ約百六十八石ニ工場ヲ示セリ

醬油(溜)ハ逐年其ノ産額ヲ増加シ品質モ亦向上シツ、アリス業指導ニ關シテハ單ニ釀造技術ノ改善ノナラズ設備ノ改善、生産費ノ遞減、資本ノ合同、販路ノ擴張等ニ關シ勸誘ニ努メ事業ノ發展スベキ氣運ヲ促進シツ、アリ又其ノ釀造改善ノ根源タル種麴ノ需要ハ逐年増加ス最近ノ使用量左ノ如シ

- 大正十年 一、三一一袋
- 大正十一年 二、七二四袋
- 大正十二年 三、四一二袋
- 大正十三年 三、九四二袋
- 大正十四年 四、七二四袋

備考 一袋ノ使用量ハ十石量ナリ

### 第二節 試驗研究

件名	件數	件名	件數
酒母鑑定	四一	酒造用種麴鑑定	三一二

清酒鑑定	四三	溜酒鑑定	一五
酒醪鑑定	一四	醬油鑑定	二二
清酒分析	六	酒類醬油脫色試驗	二
醬油分析	三	防腐劑試驗	三
水質分析	一〇七	種麴原種	八〇
大豆油分析	一		
酒類醬油脫色劑試驗	四	計	六五二

### 第三節 依頼製作 (釀造研究所)

- 一、醬油種麴 四七、八〇〇石量
- 一、清酒酵母菌 四瓶
- 一、清酒乳酸菌 一二瓶
- 一、醬油乳酸菌 七瓶

### 第四節 實地指導郡市別表

郡市別	件數	郡市別	件數
郡市別		郡市別	

員	桑	三	鈴	河	安	一	飯	計
辨	名	重	鹿	藝	濃	志	南	
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	
一二	二九	三九	一〇	二九	四	一六	五	二三四
多	度	阿	名	四	津	宇	牟	
氣	會	山	賀	日		治		
郡	郡	郡	市	市	市	山	婁	
郡	郡	郡	市	市	市	田		
三	一	八	〇	二	二	三	五	

九六

第五節 醬油仕込試験成績

縣下醬油研究會ノ希望ニ依リ左記各種ノ實地仕入ヲ爲セリ

(左記)

大	區	別	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號
豆			五斗	五斗	六斗	五斗	九斗一升

小	食	水	温	乳	仕
麥	鹽		水	酸	込
五斗	八六斤	一石		菌	年月日
五月十四年					五月廿三日
五斗	八六斤	一石			同年五月廿五日
六斗	一〇三斤	一石二斗			同年五月卅日
五斗	八六斤	一石			同年六月七日
三斗九升	一一一斤八分	一石三斗			同年六月十五日

備考

製麴法ハ總テ在來法ニシテ麴菌ハ國立醸造試験所製第五十四號菌ヲ培養セシモノナリ  
 仕込第一號ハ比較試験ノ爲メ在來法ニテ仕込ミタリ  
 仕込第二號ハ仕込水ヲ攝氏四十八度ノ温湯ニテ仕込乳酸菌五合ヲ添加セリ  
 仕込第三號ハ國立醸造試験所第百九十二號長糸菌種ニシテ色薄キモノナリ蛋白質分解ノ比較ヲ目的トセリ  
 仕込第四號ハ在來法ニ依リ製麴シタルモノニシテ攝氏四十五度ニテ仕込ミタリ  
 仕込第五號ハ三重縣特産ノ溜香氣改善ノ目的ニテ仕込タリ  
 判定

右仕込中ニアル各諸味ヲ比較判定スルニ其ノ品質ニ於テ仕込第一號、第三號、第二號、第五號、第四號ノ順位トス

第六節 實地指導及質疑應答

件名	件數	件名	件數
水質加工ノ件	三	水質ノ件	一
醪經過ノ件	一	酒母加工ノ件	三
酒造用袋ノ件	三	酒造研究會	六
溜麴製法ノ件	六	酒母製造ノ件	八
火入貯藏ノ件	二	酒造品評會ノ件	一
醬油研究會	六	清酒苦味除去ノ件	二
防腐劑ノ件	六	喇酒會ノ件	一
漏過機ノ件	一	醬油仕込用タンクノ件	一
微止劑ノ件	八	諸味壓搾機ノ件	四
大豆粕處理ノ件	二	味噌玉機械ノ件	一
麥割機械ノ件	一	昆布醬油ノ件	一

麴室改築ノ件	二	醬油加工法ノ件	一
乳酸菌ノ件	四	索引溜ノ件	一
燒酎原料仕込法ノ件	一	醬油諸味經過ノ件	一
工場視察ノ件	一	酒造用麴室ノ件	〇
燒酎醪仕込ノ件	一	溜ノ香氣ノ件	二
清酒色澤ノ件	一	醬油講習會	五
清酒瓶詰法ノ件	一	大豆ノ處理ノ件	一
全國酒造大會ノ件	五	清酒醪ノ件	一七
醬油仕込鹽度調製ノ件	二	同仕込ノ件	三
麴味噌ノ製造ノ件	二	米麴製法ノ件	一
米糖麴ノ件	一	薄口醬油麴ノ件	一
醬油講習會筆記錄ノ件	四	磨穀機ノ件	三
杜氏ノ件	一	溢柿脫臭ノ件	一
清酒脫色ノ件	一	倉人給料ノ件	一
ニラ溜製法ノ件	二	火落酒救濟ノ件	二

品評會物品ノ件  
 變味溜救濟ノ件  
 味淋救濟ノ件  
 酒質ノ件  
 溜バラ麴  
 種麴ノ件  
 精米機ノ件  
 溜仕込ノ件  
 醬油麴ノ件  
 醬油仕込ノ件  
 麴室設計ノ件  
 醬油濁濁除去法ノ件  
 古酒槍香除去ノ件  
 新規酒造場設計ノ件  
 燒酎濁濁除去ノ件

二 醬油品質改良ノ件  
 一〇 味噌玉麴ノ件  
 一 酒造場審査ノ件  
 二 醬油工場設計ノ件  
 一 薄口醬油製造ノ件  
 六 清酒成分ノ件  
 二 醬油廢稅後處理  
 二 清酒火入法ノ件  
 二 酒類審査成績ノ件  
 九 國立釀造試驗場ノ件  
 二 貯藏桶手入法ノ件  
 一 溜色澤ノ件  
 二 酒造講習會  
 一 蒸餾釜ノ件  
 一 釀造品脫色劑ノ件

二 一 一 二 二 一 二 三

清酒火入機ノ件  
 索引溜搾下法ノ件  
 鐵釜銷止法ノ件  
 大豆洗滌機ノ件  
 酒質改良ノ件  
 酒造實地指導  
 本年度試釀ノ件  
 清酒ノ火持ニ關シ  
 清酒仕入法ノ件  
 新日本酒ノ件  
 酒造稅ノ件  
 鐵管通過水質ノ件  
 醬油乳酸菌仕込ノ件  
 古酒品評會ノ件

一 精白ニ關スル件  
 三 貯藏酒ニ對スル注意  
 二 定規液ノ件  
 一 醬油原料處理  
 九 全國醬油大會ノ件  
 二 醬油ノ品質ニ關スル件  
 一 乳酸速釀醗ノ件  
 一 暖氣酒母處置ノ件  
 一〇 酒母ノ經過ニ關シ  
 一 酒母ノ救濟ノ件  
 一 ワサビ漬用酒粕ノ件  
 一 計

五 二 一 二 一 二 一 八 一 五 四 一 三〇七

### 第五章 分場

#### 第一節 分析鑑定

郡市別	種別	件数
本場	クエリン分析	一
同津市	水分折	二
三重郡	活字金分析	一
志摩郡	石鹼分析	一
同飯南郡	火山灰分析	一
同飯南郡	角又ノ分析	一
同飯南郡	水分折	二
同飯南郡	土壤分析	一
一志郡	水分折	二
鈴鹿郡	糊用タルク分析	一
宇治山田市	紙ノ檢定	一
計		一四

### 第二節 實地指導

件名	件数
硝化綿ニ就キテ並ニ混酸分析法	一
澱粉ノ硫酸糖化法	一
玩具用塗料ノ使用法	一
封筒製造機ノ撰擇及同機運轉効力ニ就キ	一
桑樹幹ヲ一時ニ束ネントスル目的ニ使用スル機具ノ考案	一
計	五

### 第三節 質疑應答

件名	件数
綿實油精製法ニ就テ	一
紙用ニス製法ニ就テ	一
陶器接合劑ニ就テ	一
竹軟化法ニ就テ	一
鍍金液中ヨリ金ノ回收法	一
人造象牙製造ニ關スル原料	一
マテ貝彎曲ニ就キテ	一
金屬焼付塗料ニ就キテ	一

封蠟製造法ニ就テ	一	セルロイド用硝化綿製造ニ就テ	一
粘土ノ應用ニ就テ	一	銅ノ着色法ニ就テ	一
醬油ノ精製方法ニ就テ	一	計	一三

### 第六章 講習講話其他

#### 第一節 講習講話

郡市名	講習	講話	會名	部別
員辨郡	一	一	久米村酒造杜氏講習講話會	醸造部
桑名郡	一	一	染色講習會	醸造部
三重郡	一	一	桑名、員辨酒類品評會及同喇酒會ニ於テ	醸造部
河藝郡	一	一	三重酒造組合研究會及同酒造講習會	同部
四日市市	三	二	染色講習會 タオルニ關スル講習講話 糊村講習會 染色講習會 箕田村産業組合、榮村同、河藝郡支部酒造喇酒會 四日市稅務署管内醬油研究會、同清酒研究會 染色講習會 研藝會	同部 同部 同部 同部 同部 同部 同部 同部

郡市名	講習	講話	會名	部別
飯南郡	一	一	南勢酒造組合喇酒會	醸造部
名賀郡	一	一	輸出織物準備工程講習會	醸造部
津市	二	一	伊賀國酒造研究會	醸造部
計	一六	一五	三重縣酒造聯合會酒造講習會、三重縣醬油同業組合 醬油講習會、津市外三 第三回染色講習會 染物業組合講習會	同部 同部 同部 同部

#### 第二節 研究會

郡市名	回数	會名	部別
四日市市	一八	研藝會	圖案部
鈴鹿郡	二	歐米視察談參考品陳列	窯業部
津市	五	四日市醬油研究會	同部
飯南郡	四	三重酒造組合研究會	同部
計	三〇	四日市醬油研究會 三重縣醬油研究會 中勢酒造組合研究會 染織研究會 同	同部 同部 同部 同部 同部



第三節 審查

會名	開催地	派遣人員
三重酒造組合酒類品評會	四日市	一
河藝郡支部酒造唎酒會	神戸市	一
三重縣第廿一回醬油研究會	津市	二
副業品展覽會	同	二
三重縣第廿二回醬油研究會	同	二
三重縣第廿三回醬油研究會	同	二
津市外三郡第一回酒造研究會	同	二
四日市第一回醬油研究會	四日市	一
三重酒造組合研究會	同	一
三重縣第廿四回醬油研究會	津市	二
桑名、員辨酒造組合品評會	桑名市	一
四日市第二回醬油研究會	四日市	一
中勢酒造組合第三回研究會	津市	二

三重酒造組合第十五回麴品評會	四日市	一
中勢酒造組合第三回研究會	津市	一
三重酒造組合研究會	四日市	一
南勢酒造組合唎酒會	松阪町	二
三重酒造組合酒類品評會	四日市	一
桑名、員辨酒類唎酒會	員辨郡大泉原村	一
中勢酒造組合酒類品評會	津市	二
三重縣第廿五回醬油研究會	同	一
伊賀國酒造組合酒類品評會	上野町	一
中勢酒造組合第四回研究會	津市	一
中部染織品評會	名古屋	一

第七章 技術者養成

第一節 練習生養成

科目	住居	所	修了者氏名

染色科	津市萬町	谷口榮政
同	員辨郡梅戸井村	日沖榮太郎
機織科	三重郡内部村	東川政一
同	阿山郡上野町	熱田一家
同	河藝郡豊津村	山中一郎
同	三重郡大矢知村	佐藤一仁
窯業科	阿山郡丸柱村	森田吉平

一〇八

第二節 第三回染織短期講習生養成 (三ヶ月間)

科目	所屬組合名	住所	就職別	修了者氏名
染色科	伊勢織物同業組合	河藝郡一身田町	森川工場工務員	西村一郎
同	同	員辨郡梅戸井村	農業	日沖榮太郎
機織科	同	河藝郡栗真村	自營業	中村宗治
同	同	津市上濱町	富田工場工務員	別所金三
同	松阪織物同業組合	多氣郡大淀町	自營業	西村齋之助

同	阿山郡上野町	安岡工場工務員	熱田一家
同	三重郡内部村	三共織布工場工務員	東川政一

第八章 庶務

第一節 文書件數

- 一、文書發送 二、六五二通
- 一、文書受付 三、九八五通

第二節 機械増設

- 一、細糸挽撚機 一臺 五〇<sup>円</sup>〇〇〇

第三節 機械貸與

- 一、折疊機 一臺 三重織布株式會社
- 一、湯熨斗機 同 竹田久太郎
- 一、西野式力織機 同 松阪織物同業組合長 尾崎三吉
- 一、電動機(貳馬力) 同 平井林四郎
- 一、縮編撚糸機 同

一、合糸機械 同

### 第四節 印刷物配付

- 一、本場業務工程 二〇〇部
- 一、視察報告 二〇〇部
- 一、本場案内 五〇〇部
- 一、染色方大意 一〇〇部
- 一、廣巾裁方 一五〇部

### 第五節 職員異動

大正十四年九月廿四日 三重縣工業試驗場染色技術員囑託 三島治三郎願ニ依リ技術員囑託ヲ解ク  
 大正十五年一月卅一日 三宅甚五郎三重縣商工技手ニ任シ三重縣工業試驗場在勤ヲ命ヌ

### 第六節 現在職員

就職年月日	職務分掌	職名	氏名
大正十年七月十四日	事務分掌	地方技師 地方商工技師	熊田健一
同 年三月卅一日	場長	地方商工技師	森國治
同十三年一月卅一日	醸造主任	同	山ノ内春樹
	窯業主任		

同 七年一月十日	機械主任	商工技手	伊藤真吾
同十二年三月卅一日	圖案主任	同	矢野孝之
同十三年十二月十三日	染色主任	同	上岡長三郎
同 十年八月十三日	醸造	同	桑木 胖
同十五年一月卅一日	整理主任	同	三宅甚五郎
同十一年五月十八日	庶務	商工主事補	垂髮 露音

### 分場

分場主任漆器(兼)	地方商工技師	甘利 祐作	
大正十一年三月卅一日	化學製品(兼)	同	竹井幾右衛門
明治四十二年五月三日	製紙(兼)	同	杉山 佐市
大正十二年十二月卅一日	機械(兼)	同	寺岡 節夫
同 十三年四月廿一日	庶務會計(兼)	商工主事補事務取扱	瀨崎鐵次郎
明治四十二年九月廿七日			

### 第七節 決算書

大正十四年度三重縣工業試驗場歳入歳出決算書

歳入 經常部

科 目	本年度		比 較	附 記
	豫算高	決算高		
第十一款 雜 收 入	110,000	35,000	增	
第五項 物品賣却代	15,000	2,000		
第八目 製作品賣却代	15,000	1,000		本年度製品ハ參考トシテ保存シアルニ依ル
第十五目 不用品賣却代	2,000	1,000		
第八項 手 數 料	5,000	3,000		
第六目 分折其他手數料	5,000	3,000		
歳入經常部合計	117,000	35,000		
歳 出	經常部			
第十一款 勘 業 費	27,199	27,646	比 較	
	46,470	46,470	増	

科 目	本年度	決算高	比 較	附 記
第六項 工業試驗場費	27,199	27,646	増	
第一目 俸 給	11,810	11,280		
技師年俸	5,400	5,483	増	
技術者年手當	4,000	4,000		
技手月給	5,280	4,450	減	
主事補月給	7,000	8,350	増	
第二目 雜 給	9,618	9,530		
囑託員年手當	10,000	9,600	減	
助手及職工月給	4,943	4,478	減	
火夫月給	4,500	4,770	増	

備品費	諸器械費	試驗諸費	第三目場費	勉勵賞與	旅費	染織講習生月手當	練習生月手當	雇人料	小使月給
100000	500000	1,200000	4,700000	435500	3,100000	80000	90000	60000	330000
66700	499300	1,545900	5,023100	3,249870	3,249870	71490	63500	25000	330000
		334590	292310	1,441450	149870				
33000	700					8510	83670	55000	

歲出合計	第五目雜費	小破修繕	實地設計	第四目修繕費	動力燃料費	通信運搬費	參考品費	印刷費	消耗品費
27,189,900	438,000	27,360	476,640	551,000	2,000,000	100,000	200,000	100,000	600,000
27,654,660	340,610	74,300	570,370	644,670	1,889,780	170,000	153,300	99,150	599,500
464,760			93,730	93,670		70,000	33,300		
	97,390	060			110,310			850	500

大正十四年度三重縣工業試驗場作業資金歲入歲出決算書

歲入之部

科目	本年度 豫算高	決算高	比較		附記
			増	減	
第一欸作業資金	三、三九〇〇〇〇	二、八五六〇九二		三、八〇三九〇八	
第一項資金收入	三、三九〇〇〇〇	二、八五六〇九二		三、八〇三九〇八	
第一目製品賣却代	三、〇〇〇〇〇〇	二、九七三三四〇		一、〇二六八六〇	
織物	三、〇〇〇〇〇〇	二、九七三三四〇		一、〇二六八六〇	
第二目手數料	三、五〇〇〇〇〇	二、〇三三八一〇		一、四七六一八〇	
織物整理	七五〇〇〇〇	一、四八一九〇	三九八一九〇		
染色漂白	二、一〇〇〇〇〇	七三三七九〇		一、三六七一一〇	
燃糸	一四〇〇〇〇	三三七五〇		一〇六二五〇	

歲出之部

科目	本年度 豫算高	決算高	比較		附記
			増	減	
雜染色精練	一〇〇〇	—		一〇〇〇	
シルケット	五〇〇〇〇〇	一〇九九九		三九〇九一〇	
第三目利子	四〇〇〇〇	—		四〇〇〇〇	
第四目繰越高	五、八五〇〇〇	四、五四七三三		一、三〇二六八	
第五目雜收入	—	四一四〇〇	四一四〇〇		
歲入合計	三、三九〇〇〇〇	二、八五六〇九二		二、八〇三九〇八	
第一欸作業費	三、三九〇〇〇〇	三、八六〇七〇		八、五三三三〇	
第一項作業費	三、三九〇〇〇〇	三、八六〇七〇		八、五三三三〇	

第一目 機械購入設備		籽	箴	綜	齒	修繕費	第二目 原料購入費	織物原料	雜染色精練	整理原料
150000	24070	21000	24000	60000		45000	3,000,000	9,784,000	8000	150000
		15000			9070		10,570,100	9,642,250		174880
					9070					24880
259300		6000	24000	60000		45000	1,422,980	1,197,500	8000	

第三目 織物製作費		染色漂白	燃糸	シルケット原料	主事補月給	職工給	公傷治療費	動力燃料費	消耗品費	通信運搬費
2,420,000	1,750,000	8000	3,000,000	600,000	1,225,000	1,500,000	110,000	30,000	110,000	
3,335,000	693,590		543,000		2,676,800	1,542,680		8250	27370	
853,000	1,056,410	8000	2,497,000	800,000			150,000	22750	22610	

14.2  
351

大正十五年八月十五日印刷  
 全 年八月十八日發行

三重縣津市大字下部田  
 三重縣工業試驗場

印刷人 松田德三郎  
 印刷所 伊勢新聞社活版部  
 三重縣津市丸之内本町四番屋敷

歲出合計	第五目 豫備費	第四目 公課	雜費	旅費	勉勵賞與費
三、三九〇〇〇	七、五二〇〇〇	三〇〇〇〇〇	四五〇〇〇〇	三五〇〇〇	一五〇〇〇
一、三、八六六〇七〇		二九六八〇	五三二〇〇〇	—	—
			七二〇〇〇		
		二七〇〇〇〇		三五〇〇〇	一五〇〇〇
八、五三三三〇					

大正十五年三月卅一日  
 收入  
 前年度決算現在金額 四、五四七、七三二  
 本年度製品賣却代 一、九七三、一四〇  
 同 依賴加工手数料 二、〇二三、八二〇  
 同 資金利息 一、四一〇、四〇〇  
 同 雜收入 一八、五八六、〇九二  
 收入合計 一八、五八六、〇九二

三重縣工業試驗場  
 支出  
 大正十四年度機械購入設備費 一〇、五八七、〇〇七  
 同 原料購入費 三、二二五、三〇〇  
 同 織物製作費 二、九六六、〇〇〇  
 同 公課 一三、八六六、〇七〇  
 支出合計 一三、八六六、〇七〇  
 差引現在金 四、七二〇、〇二二  
 製品殘高 一、五三八、二九八  
 原料殘高 六三〇、九四八



終

Faint, illegible text on a separate sheet of paper, possibly bleed-through or a separate page. The text is too light to transcribe accurately but appears to be organized in columns.